

「狭山丘陵」グループ

事業計画書

狭山丘陵パートナーズ

目 次

I 支出計画

II 事業計画

1 管理運営に関する基本的事項

- (1) 公の施設の管理運営に対する基本的考え方
- (2) 都立公園の管理運営における基本理念
- (3) 指定管理者の責務

2 人員配置計画等

- (1) 人員配置計画
- (2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担
- (3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

3 運営管理計画

- (1) 都立公園の管理運営についての実施方針と具体的な取組
- (2) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組
- (3) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法
- (4) 都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組
- (5) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案
- (6) 東京 2020 大会レガシーを継承する取組

4 施設維持管理計画

- (1) 適切な維持管理を行うための取組
- (2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組
- (3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組
- (4) 丘陵地特性を踏まえた植生管理
- (5) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

I 支出計画

単位:千円

年 度	提案額
5年度	354,478
6年度	354,478
7年度	354,478
8年度	354,478
9年度	354,478
計	1,772,390

II 事業計画

1. 管理運営に関する基本的事項

(1) 公の施設の管理運営に対する基本的考え方

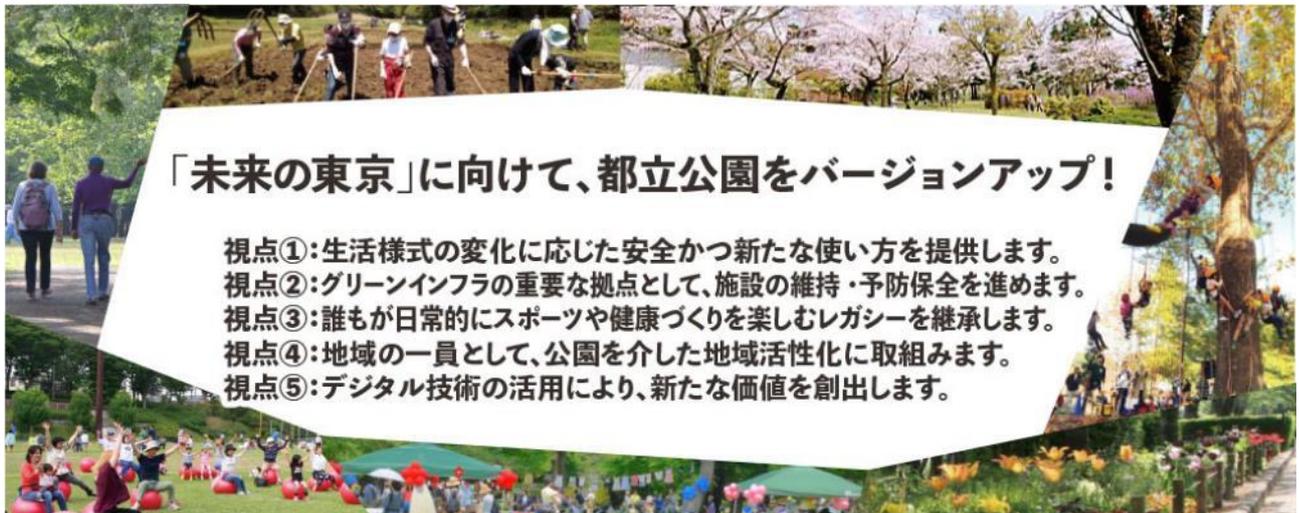
1 指定管理者の役割

都立公園は、**都民の福祉の増進と生活文化の向上**に寄与することを目的とした公の施設です。指定管理者は、法令や条例等に基づく適切な管理運営を行い、都立公園の設置目的、「東京都パークマネジメントマスタープラン」(平成27年3月)、「公園別マネジメントプラン改定の視点と取組イメージ」(令和4年3月)を踏まえ、**行政の代行者としての責務を果たすとともに、民間ならではの創意工夫ある企画や効率的な運営**等により、利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスを提供していく役割があります。

2 管理運営に対する基本的考え方

●時代のニーズや状況変化に対応し、東京都とともに「未来の東京」戦略を進めます。

これまでの都立公園の指定管理者として取組んできた、パークマネジメントマスタープランに掲げる4つの基本理念に基づく事業を、**時代のニーズや状況変化に迅速に対応するアジャイル思考**でさらにバージョンアップし、東京都と一体となって、「未来の東京」戦略を進めます。



上記の視点でこれまでの取組を継承・発展！

都市の魅力を高める公園

公園と地域の両面から都市の魅力を高めます

高度防災都市を支える公園

防災ネットワーク・ノウハウを活かし地域防災力を高めます

生命を育む環境を次世代に継承する公園

東京の生物多様性の向上に貢献します

豊かな生活の核となる公園

パートナーシップで地域の課題解決に取り組めます

●指定管理者として信頼ある事業活動を展開します。

私たちは、**法令や社会的規範を遵守**し、適正な事業活動を行い、**安全で快適な公園づくり**を徹底します。またコンソーシアムの強みを生かし、**多様な主体との協働・連携、地域活性化や地域価値向上**に資する地域貢献、さらに効果的かつ効率的な取り組みや新技術の活用など、費用対効果を考慮しながら民間活力の導入を進め、**公園を拠点に社会課題の解決**に取り組めます。

この考えのもと、都民に信頼される指定管理者として、コンプライアンスを遵守し、スタッフ一人ひとりの能力をさらに高め、チームが一丸となって質の高いパークマネジメントを展開します。



いきいきと働くスタッフ

3 「未来に向けて、バージョンアップ！」の視点

視点① ポストコロナを見据えた社会への順応

生活様式の変化に応じた安全かつ新たな公園の使い方を提供します。

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に、これまで以上に公園が身近なものとなり、幅の広い利用者層が日常的に利用するようになりました。公園のあり方がより重要になっており、これまでの取組を活かしつつ、「個」の多様な利用が促進される工夫の拡充や、遠くても公園と繋がれる仕組みの確保等、新しいニーズを取り込んだ管理運営にバージョンアップしていきます。



YouTubeライブで同時配信した夜間屋外イベントの開催(狭山公園)

視点② 激甚化する気象災害への対応

グリーンインフラの重要な拠点として、施設の維持・予防保全を進めます。

激甚化する気象災害に対応していくために、タイムラインに沿った、災害時の利用者や地域の安全の視点で公園を再点検するとともに、雨水貯留機能やヒートアイランド現象の緩和、生物多様性等の多様な公園機能を踏まえた維持管理・施設修繕・予防保全等、グリーンインフラの拠点として寄与する管理運営にバージョンアップしていきます。



土砂災害警戒区域のモニタリング調査(八国山緑地)

視点③ 東京2020大会レガシーの継承

誰もが日常的にスポーツや健康づくりを楽しむレガシーを継承します。

私たちは年齢や性別、障害者や国籍等に関係なく、ともに認め合える共生社会の実現に向け、都民とともに東京2020大会と一緒に盛り上げてきました。その取組の成果をレガシーとして継承します。特に、少子高齢化社会に対応し、子どもの健やかな成長、高齢者や障害者の健康づくり等のサポートを充実し、誰もが安心して利用できる公園づくりに力を入れていきます。



スポーツ総合イベント「チャレンジキャラバン」(武蔵国分寺公園で開催)

視点④ 民間や地域との連携強化

地域の一員として、公園を介した地域活性化に取り組めます。

東京都の文化都市としての魅力向上に寄与していくよう、これまでの都民協働、地域連携を進めるだけでなく、地域の企業等と連携し、社会実験の場として新たな公園の可能性を広げ、地域活性化につなげていきます。また、子ども達が社会の一員として参画できる取組を通じ、総合的に公園の質を高める管理運営にバージョンアップしていきます。



自ら調べた自然を来園者に解説する狭山キッズレンジャー(狭山公園)

視点⑤ DXの推進

デジタル技術の活用により、新たな価値を創出します。

デジタル技術の普及により、利便性の向上やリアルとバーチャルのシームレス化等、社会が大きく変容しています。このような社会変容に対応していくため、様々なデジタル技術の活用によって、公園の魅力発信や交流を促進すること、維持管理・保全情報の統合化やAIロボット導入等による公園のスマート化を進め、より利便性、効率性、快適性を高め、新たな価値を生み出すパークマネジメントにバージョンアップしていきます。



ドローンを活用したナラ枯れ調査(滝山公園で実施)

(2) 都立公園の管理運営における基本理念

1 これまでの管理運営の成果

狭山丘陵グループは、東京都北西部の都県をこえて一体に残る貴重な里山環境の中に、里山民家のある里山体験エリア、都民の水がめの多摩湖堰堤がある等、**東京が誇る大切な宝物**と言えます。

里山には、古来より人と自然が共生する持続可能な社会を実現するための知恵と技術が集結しています。私たちはこれまで、本グループの指定管理者として、「**都民協働による循環型パークマネジメント**」を進め、**現代のニーズに合った里山の文化を継承・発展**させてきました。



狭山丘陵から、新しいボランティア文化を根付かせることができた

2 管理運営の基本理念と、指定管理終了後の各公園の姿

これまで私たちは、里山のポテンシャルを引き出しながら、子育て、健康、脱炭素、生物多様性、地域活性化等、**現代社会が抱える様々な問題を解決**していく「**サステナブルチャレンジ**」を進めてきました。しかし、この数年に**社会環境は大きく変化**し、持続可能な社会に貢献する取組はさらに急務となっています。

公園の管理運営においても**より具体的に行動**していくため、これまでの取組をさらに発展させ、基本理念を「持続可能な社会に貢献する公園づくり『**サステナブルアクション**』」とし、**産官学民の協働**をさらに進めます。

また、東京2020大会のレガシーを継承しつつ、東京の宝物である狭山丘陵から「SATOYAMA」を国内外に広く発信し、**「未来の東京」の実現、「世界から選ばれる都市」づくりに貢献**していきます。



「サステナブルアクション」による各公園の姿

狭山公園	狭山丘陵を楽しむ子育て支援と観光連携の拠点	多様な自然体験を通して子ども達の生きる力を育むフィールドとして、また、多様な利用者を受入れる狭山丘陵の玄関口として、丘陵地全体の活性化拠点を目指します。	
狭山・境緑道	狭山丘陵につながる魅力あふれる緑道	効率的・効果的な管理により生活道としての安全を確保しつつ、沿道地域の市民や団体と連携し、四季折々の癒しと賑わいを創出する緑道を目指します。	
八国山緑地	地域連携で水と緑のネットワークを拡充する緑地	自然環境を学び、育てるフィールドとして、また、地域全体の防災力を高める地域連携のフィールドとして、より水と緑のネットワークが拡充する緑地を目指します。	
東大和公園	雑木林博物館として、次世代に引き継ぐ雑木林	マツ枯れやナラ枯れ等により雑木林環境が変化する中、公園ボランティアや子ども達と共に“新しい時代の雑木林モデル”の確立を目指します。	

<p>中藤公園</p>	<p>歴史や文化の魅力を発信するマイクロツーリズムの推進の場</p>	<p>狭山丘陵ならではの自然・歴史・文化資源を多く有するポテンシャルを活かし、地域と連携しながら新たな観光名所として愛される公園を目指します。</p>	
<p>野山北・六道山公園</p>	<p>協働による新しい里山文化と資源循環を創造するフィールド</p>	<p>人と自然が共生する里山文化の知恵と技術を引継ぎ、現代のニーズにあった持続可能な社会に貢献する、新たな里山文化創造の場となる公園を目指します。</p>	

3 私たちが持つノウハウの活用と各構成員の役割

私たちは、この16年間に狭山丘陵グループの指定管理者として培ってきたノウハウやネットワークを基盤に、各構成員の持つ専門性や特性を活かし、安定した公園管理と多様なニーズに柔軟に対応していきます。

《コンソーシアムの特徴と強み》

- 代表企業は東京都西部地域を地盤とするグループ企業であり、全国の多種多様な指定管理実績を踏まえた地域価値向上の視点によるトータルコーディネートを行うことができます。
- 行政と地域をつなぐ中間支援NPOが構成員となっており、官民連携・協働事業を強力に推進できます。
- 防災、健康をテーマとした事業活動を行う構成員により、現代の社会課題解決に迅速に対応できます。

- 東京都西部に地盤をもつ西武グループとして都民や社会へのより一層の貢献を目的に、地域との信頼関係を基に、グループ各施設の活用と官学民連携をもって公園の魅力向上を推進します。

- 全国64箇所、494公園(R4.6現在)の都市公園等の管理実績と、創業1951年から積み重ねてきた造園施工及び維持管理技術を活かし、質が高く、安定した総合的なマネジメントを提供します。

統括・造園管理

全国ネットワーク活用

西武造園株式会社

- 多摩地域の環境NPO法人。設立25年を超える経験で培った「現場力」と「地域ネットワーク力」、「市民協働、環境保全、環境教育」の専門知識により、公園緑地を拠点に地域課題の解決に取り組んでいます。

- 「みどりの中間支援組織」として様々な主体との地域連携を強力に推進し、生物多様性の保全、自然体験・環境学習、ボランティア活動やイベントの活性化を図り、公園緑地の価値を向上します。

生物多様性向上

環境教育

地域連携・ボランティア支援

特定非営利活動法人NPObirth

安定した公園管理と、多様なニーズに柔軟に対応できるコンソーシアム

ミズノスポーツサービス株式会社

- ミズノグループのあらゆる知見を活かし、スポーツを通じ、喜びや楽しさ、感動を生み豊かで快適なスポーツライフを提供します。
- 東京2020大会のレガシーを継承し、人々がスポーツや健康のための多様な活動を通して、サステナブルに取り組んでいける社会の実現に貢献します。

地域スポーツ振興

オリンピックレガシー継承

一般社団法人防災教育普及協会

- 国内外での防災教育実践事例をもとに、地域と公園が一体となった災害に強いまちづくりのため、より効果的な防災対策の普及啓発に取り組めます。
- 防災・安全教育の専門的知見に基づく教育訓練プログラムを実施することにより、公園と地域の防災・安全を推進します。

防災学習・訓練

防災ネットワーク化

(3) 指定管理者の責務

1 事業主体としての社会的責任の考え方

近年、事業活動が社会に与える影響が増大し、企業が社会的責任を果たすことが求められています。2015年9月の国連サミットで、気候変動や格差等の幅広い課題の解決を目指すSDGsが採択され、「誰一人取り残さない」持続可能でより良い社会の実現が、世界共通の課題となっています。

私たちは、このSDGsの理念や目標等は、産官学民連携による公園づくりそのものと捉えています。民間の事業主体として、**経済面、環境面、社会面の3つの視点による総合的な判断**から、SDGsの達成に向け、積極的に社会的責任を果たしていきます。

また、このような社会的責任を果たすことは、事業主体としての**社会的信頼性の向上**につながるとともに、多様なパートナーシップを生み出し、**新たな公園価値の創造を実現**するものと考えています。



2 具体的取組

① 都の事業・施策への協力・連携

私たちは、指定管理者の役割を理解し、**法令や条例に基づく適正な管理運営**を行うとともに、**都が政策目標達成のために実施する事業・施策**に積極的に協力、連携しながら対応していきます。また、大規模自然災害や危険性の高い感染症等の流行時においても、都の要請や都との協議により、**都民・利用者の安全を確保**する責任を果たしていきます。

② 障害者に対する社会的障壁の除去及び合理的な配慮

私たちは「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」を踏まえ、**障害者の権利利益を侵害することがないよう**、障害者に対する社会的障壁を除去していきます。また公園には、身体・知的・精神障害、難病等を原因とする障害者、高齢者や子ども等、多様な利用者が訪れます。そのため「都市公園の移動等円滑化整備ガイドライン」を踏まえ、**ソフトとハードの両面**から、公園利用における**「物理的」「心理的」「情報面」**のバリアフリーを推進します。

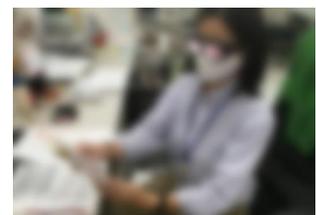
- ・施設の劣化や破損、植生の成長等で施設や設備の機能が阻害されないよう、適切な維持管理を行います。
- ・バリアフリー情報を適切に提供するため、窓口対応ガイドライン・バリアフリーマップや点字マップの充実等、円滑な利用に向けた広報・普及啓発活動を促進します。
- ・職員一人ひとりが施設の機能や個々のニーズを把握し、「心のバリアフリー」を体現するために、専門家・当事者によるユニバーサル研修の定期開催を継続します。（協力：ユニバーサルデザイン共同研究会、社会福祉協議会等）



「都立公園における水辺の再生事業」への協力（桜沢池のかいぼり）



バリアフリー改修事例



色弱体験眼鏡を使用した研修



バリアフリールートが掲載されたマップ

③障害者の雇用

現在、代表企業の西武造園株式会社は、障害者雇用を拡大するため、「障害のある人たちの差別偏見のない社会づくり」を理念としている、株式会社ゼネラルパートナーズと連携し、公園の管理運営が**障害者が自分らしい働き方で活躍**できる就労の選択肢となるよう、障害者雇用の可能性を広げる取組を始めています。

代表企業の障害者雇用
取組イメージ



④公の施設における不当な差別的言動の防止

私たちは、「**人権は誰もが尊重されるべきものであり、国籍や文化の違いを理解し合い、お互いを思いやる**」という精神を公園づくりに反映していきます。

ヘイトスピーチの蓋然性が高い場合や、それが起因で安全な利用に支障が想定される場合等、「本邦外出身者に対する不当な差別的言動の解消に向けた取組の推進に関する法律」を踏まえ、**表現の自由その他日本国憲法の保障する自由と権利を不当に侵害することのないよう留意**しつつ、都と連携して使用制限を行う等、対応マニュアルを作成し、研修を実施して対応できる体制を構築します。

⑤事業活動に係る環境負荷の軽減

世界的な気象災害による被害発生への対応や、生物多様性の保全等が求められる中で、都は世界の大都市の責務として、平均気温の上昇を1.5℃に抑えることを追求し、2050年にCO2排出実質ゼロに貢献する「**ゼロエミッション東京**」を実現することを目指しています。私たちも、行動を加速化するため、**2030年カーボンハーフに寄与**するよう、環境負荷の軽減を進めます。

New

- ・災害時のエネルギー供給源となる、移動して利用できる**ポータブル太陽光発電**の導入

New

- ・園内巡回・管理車両等のEV車への変更

- ・企業等との連携による**園内の資源循環、地域のサーキュラーエコノミー**の推進

- ・製品やサービスを購入する際には、**東京都グリーン購入ガイド**に基づき、環境を考慮し、必要性をよく考え、環境への負荷ができるだけ少ないものを選択

- ・管理事務所や施設における**省エネ、節水、ペーパーレス化の継続**

- ・ゴミの発生抑制に取組む2Rビジネス(量り売り、シェアリング、リユース容器等)を進める**事業者との連携**

- ・その他**東京都、地元自治体と連携した、環境負荷に関する取組の推進**

具体的取組



LED照明への設置



伐採木の再利用



webを活用したボランティアとの
情報共有(ペーパーレス化の推進)



EV車への変更

⑥地域とのパートナーシップの構築

これまで私たちは、地域の事業主体として、東京都と埼玉県にまたがる狭山丘陵の自然を守るための**狭山丘陵広域連絡会の運営**やシンポジウムの開催等、**地域と一体となった活動**を行ってきました。

今後も、地域の一員として、地域価値向上のための協議会や交流会、情報交換会への参加等、**様々な形で地域活動に貢献**していきます。



狭山丘陵の6自治体等で構成される
狭山丘陵観光連携事業推進協議会

2 人員配置計画等

(1) 人員配置計画

ア 総括表

(単位：人)

管理組織(公園名等)	雇用形態		備考
	常勤職員	非常勤職員 その他(具体的に)	
本社等	7	0	事業責任者、維持管理・安全担当、運営管理担当、防災担当、スポーツ担当、広報戦略担当、人事・経理・法務担当
狭山・境緑道	0	0	狭山公園に担当者を配置
狭山公園	7	10	
八国山緑地	0	0	狭山公園に担当者を配置
東大和公園	0	0	狭山公園に担当者を配置
中藤公園	0	0	野山北・六道山公園に担当者を配置
野山北・六道山公園	12	14	
計	26	24	

※各管理組織の雇用形態の内訳を記入してください。常勤とは週40時間程度勤務し貴団体が複数年にわたり雇用する職員とします。

非常勤職員は、パート、アルバイトなど臨時に契約する職員とします。

※「本社等」の欄には、貴団体の本社等統括組織に配置する公園管理に係る人員を記入してください。

※管理所のない公園については、備考欄にどのような体制をとるか記入してください。(○○公園管理所で対応、公園外に拠点を設置など)

イ 公園別内訳 【狭山・境緑道】

	役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
				常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
管理所配置人員		管理所がないため狭山公園に担当者 を配置				—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
						—			
業務委託					—	—			
					—	—			

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【狭山公園】

役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
統括所長	グループ公園の統括責任者、東京都との連絡調整等、全体予算管理	公園管理運営士、公園管理運営経験5年以上	○	—	—	—	40	
所長兼レンジャー部チーム	狭山公園の責任者、東京都との連絡調整、公園巡回、利用指導、自然ガイドや体験学習等の企画運営、自然情報発信（展示等）	公園管理運営士、公園管理運営経験5年以上	○	—	—	—	40	
副所長兼広報・PDCA担当	所長不在時の代行等、予算管理、見所の調査、情報収集・発信、広報・宣伝活動、利用者意見の収集分析、PDCA	公園管理運営経験3年以上	○	—	—	—	40	
維持管理担当	維持管理、修繕(軽微なもの)、巡回、警備、利用指導、狭山・境緑道担当	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
維持管理担当	ボランテニアコオーディオネットワーク、地域連携・協働に関わるイベント等の企画調整・運営、狭山・八国・東大和・緑道担当	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
パークコーディネーター	ボランテニアコオーディオネットワーク、地域連携・協働に関わるイベント等の企画調整・運営、狭山・八国・東大和・緑道担当	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
パークコーディネーター	ボランテニアコオーディオネットワーク、地域連携・協働に関わるイベント等の企画調整・運営、狭山・八国・東大和・緑道担当	公園管理運営経験者	○	—	—	—	40	
スポーツコーディネーター	全公園のスポーツ教室・イベントの企画・運営、スポーツ施設運営関連情報交換	スポーツ運動プログラム指導経験者	○	○	—	—	16	
受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者	○	○	—	—	32	
受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者	○	○	—	—	24	
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者	○	○	—	—	24	
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者	○	○	—	—	24	
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者	○	○	—	—	24	
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者	○	○	—	—	24	
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者	○	○	—	—	24	
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、維持管理作業、衛星公園・緑道維持管理他作業	類似業務経験者	○	○	—	—	24	
パークレンジャー	公園巡回、利用指導、自然解説、危険箇所確認	類似業務経験3年以上	○	○	—	—	24	

管理所配置人員

	パークレンジャー	公園巡回、利用指導、自然解説、危険箇所確認	類似業務経験3年以上	○	—	24
業務委託				—		
				—		

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

勤務ローテーション表 【狭山公園】

役職	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	1週間の勤務時間	備考		
	曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日					
総括所長	常勤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	40時間	
所長兼レンジャー部チーフ	常勤	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	40時間	
副所長兼広報・PDCA担当	常勤	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	40時間		
維持管理担当	常勤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	40時間		
維持管理担当	常勤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	40時間		
パークコーディネーター	常勤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	40時間		
パークコーディネーター	常勤	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	40時間		
常勤職員出勤数		5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
スポーツコーディネーター	非常勤	○				○				○			○				○				○			○										16時間		
受付スタッフ	非常勤			○	○	○	○			○	○	○	○					○	○	○	○				○	○	○	○						32時間		
受付スタッフ	非常勤	○	○					○	○	○					○	○	○					○	○	○					○	○	○	○	○	24時間		
維持管理スタッフ	非常勤		○	○	○					○	○	○					○	○	○				○	○	○									24時間		
維持管理スタッフ	非常勤		○	○	○					○	○	○					○	○	○				○	○	○									24時間		
維持管理スタッフ	非常勤	○					○	○	○						○	○	○					○	○	○						○	○	○	○	24時間		
維持管理スタッフ	非常勤	○					○	○	○						○	○	○					○	○	○						○	○	○	○	24時間		
維持管理スタッフ	非常勤	○					○	○	○						○	○	○					○	○	○						○	○	○	○	24時間		
パークレンジャー	非常勤			○	○	○				○	○	○						○	○	○				○	○	○								24時間		
パークレンジャー	非常勤	○					○	○	○						○	○	○					○	○	○						○	○	○	○	24時間		

◎ 公園の当日の責任者

イ 公園別内訳 【東大和公園】

役割	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態			一週間の勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託		
	管理所がないため狭山公園に担当者を配置				—		
委託業務			—	—			
			—	—			

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職(所長、警備員等)を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうち記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。(標準1か月分：様式任意)

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

イ 公園別内訳 【中藤公園】

役割	担当業務内容 (具体的に)	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態			一週間の勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託		
	管理所がないため野山北・六道山公園に担当者を配置				—		
委託業務			—	—			
			—	—			

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職(所長、警備員等)を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうち記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。(標準1か月分：様式任意)

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

イ 公園別内訳 【野山北・六道山公園】

役職	担当業務内容（具体的に）	能力、資格、実務経験年数等	雇用形態				一週間の勤務時間	備考
			常勤	非常勤	委託	その他（具体的に）		
所長	野山北・六道山公園の責任者、渉外、総合調整、予算管理、中藤公園担当	公園管理運営経験3年以上	○		—		40	
副所長兼パークレンジャー	所長不在時の代行、公園巡回、利用指導、自然ガイドや体験学習等の企画運営、自然情報発信（展示等）	公園管理運営経験3年以上、生物分類検定	○		—		40	
パークレンジャー	公園巡回、利用指導、自然ガイドや体験学習等の企画運営、自然情報発信（展示等）、野山北・中藤担当	公園管理運営経験3年以上、ヒオトープ管理士	○		—		40	
パークレンジャー	公園巡回、利用指導、自然ガイドや体験学習等の企画運営、自然情報発信（展示等）、野山北・中藤担当	公園管理運営経験者	○		—		40	
維持管理担当	維持管理、修繕（軽微なもの）、巡回、警備、利用指導	公園管理運営経験者	○		—		40	
自然環境保全部チーフ	全公園の自然環境調査・分析、希少種の保全、外来種防除、保全計画策定等	公園管理運営経験3年以上、生物分類検定	○		—		40	
自然環境保全スタッフ	全公園の自然環境調査・分析、希少種の保全、外来種防除、保全計画策定等	公園管理運営経験者	○		—		40	
都民協働・イベント部チーフ（パークコーディネーター）	ボランティアコーディネート、地域連携・協働に関わるイベント等の企画調整・運営、野山北・中藤担当	公園管理運営経験3年以上	○		—		40	
パークコーディネーター	ボランティアコーディネート、地域連携・協働に関わるイベント等の企画調整・運営、野山北・中藤担当	公園管理運営経験者	○		—		40	
パークコーディネーター	ボランティアコーディネート、地域連携・協働に関わるイベント等の企画調整・運営、野山北・中藤担当	公園管理運営経験者	○		—		40	
パークコーディネーター	ボランティアコーディネート、地域連携・協働に関わるイベント等の企画調整・運営、野山北・中藤担当	公園管理運営経験者	○		—		40	
広報・PDCA担当	統括所長の補佐、総務、見所の調査、情報収集・発信、広報・宣伝活動、利用者意見の収集分析、PDCA	公園管理運営経験者	○		—		40	
受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者		○	—		32	
受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者		○	—		24	
受付スタッフ	窓口対応、利用案内、一般事務等	類似業務経験者		○	—		24	

維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、清掃・維持管理作業	類似業務経験者		○	—		24
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、清掃・維持管理作業	類似業務経験者		○	—		24
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、清掃・維持管理作業	類似業務経験者		○	—		24
維持管理スタッフ	巡回・点検、清掃、清掃・維持管理作業	類似業務経験者		○	—		24
パークレンジャー	公園巡回、利用指導、自然解説、危険箇所確認	類似業務経験者		○	—		24
パークレンジャー	公園巡回、利用指導、自然解説、危険箇所確認	類似業務経験者		○	—		24
民家スタッフ	利用案内、清掃	類似業務経験者		○	—		16
民家スタッフ	利用案内、清掃	類似業務経験者		○	—		16
民家スタッフ	利用案内、清掃	類似業務経験者		○	—		16
民家スタッフ	利用案内、清掃	類似業務経験者		○	—		8
民家スタッフ	利用案内、清掃	類似業務経験者		○	—		8
				—	—		
委託業務				—	—		

管理所配置人員

※1枚1公園として公園名を記入し、全公園分を作成してください。

※職員一人ごとに記入してください。

※役職については、公園を管理運営するうえで必要と思われる役職（所長、警備員等）を記入してください。

※能力、資格、実務経験等は実際に配置する予定職員を想定のうえ記入してください。

※雇用形態は該当する欄に○をつけてください。その他の場合は具体的な雇用の形態を記入してください。

※「業務委託」については、警備や時間外の施設管理等に必要な人員を委託によって充てる際に記入してください。

※本表とは別に職員のローテーション表を作成し提出してください。（標準1か月分：様式任意）

【有料施設の時間外の施設利用への対応】

※該当施設があれば必ず記入してください

(2) 組織体制・指揮命令系統と役割分担

1 適切な管理水準を確保するための基本的な考え方

私たちは、当公園グループ全体を円滑に管理するため、以下の方針に基づき、指揮命令系統・連絡調整機能を発揮する体制を確立します。緊急時には、**東京都をはじめ地元自治体や消防署・警察署と円滑な連絡・連携**を進め、適切な対応を行います。

- 統括管理所の設置による効率的効果的な指揮命令体制の構築
- 日常の報告連絡相談による、都、地元自治体、消防、警察等との綿密な連携体制確立
- 公園管理運営に携わる全員（管理所スタッフ、ボランティア、協力団体等）を対象とした緊急時対応訓練の実施
- 発災時、被災時の現地・本部一体となった安全確保と早期の施設機能の復旧
- 管理所のない公園には管理担当責任者を配した管理体制の構築

2 組織体制・指揮命令系統の具体的取組

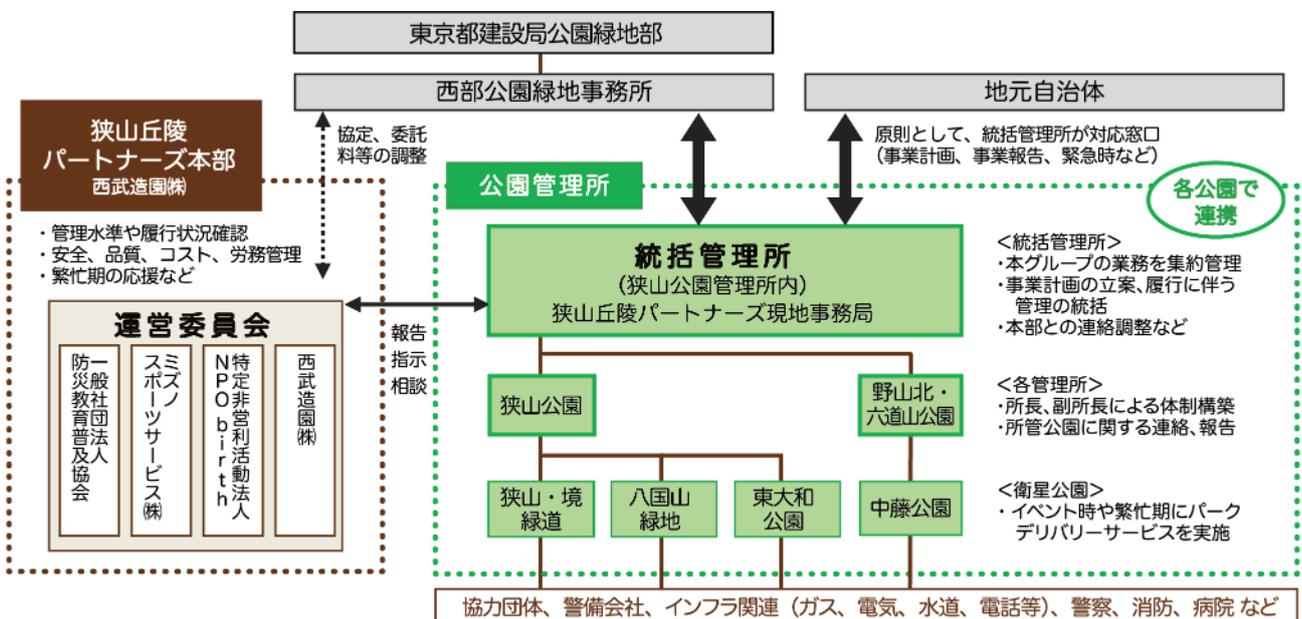
私たちは主体的に問題を解決する力、変化に対応する力、実行力といった「**現場力**」を重視し、公園管理に必要な専門的知識・経験豊かなスタッフを配置することで、責任ある事業執行を進めます。災害時には、パートナーズ本部と公園管理所・関係機関等が密に連携し、迅速な情報共有、問題・課題の早期解決に、「**組織力**」で対応します。



代表企業や構成団体の事務所、**西武グループ企業**の持つ交通機関網、構成団体が管理運営する隣接する都立公園グループや、市立公園との相互連携による体制構築を図り、「**面的な組織力**」を発揮します。

① 平常時

- パートナーズを統括する「**本部**」を代表企業である**西武造園(株)**内に設置し、**現地には統括管理所を狭山公園**に置き、下図のような役割分担で事業を執行します。
- 各管理所では、毎日の朝礼で、その日の出勤者による緊急連絡体制を確認します。
- 狭山・境緑道、八国山緑地、東大和公園、中藤公園については、日々のスタッフにより巡回、点検を実施し、所管の管理所に情報を集約します。
- 協力団体と災害時の復旧に関する協定を締結し、発災時の体制を整えます。
- 平常時より災害時を想定した**防災訓練等を地元自治体と共同で実施**します。

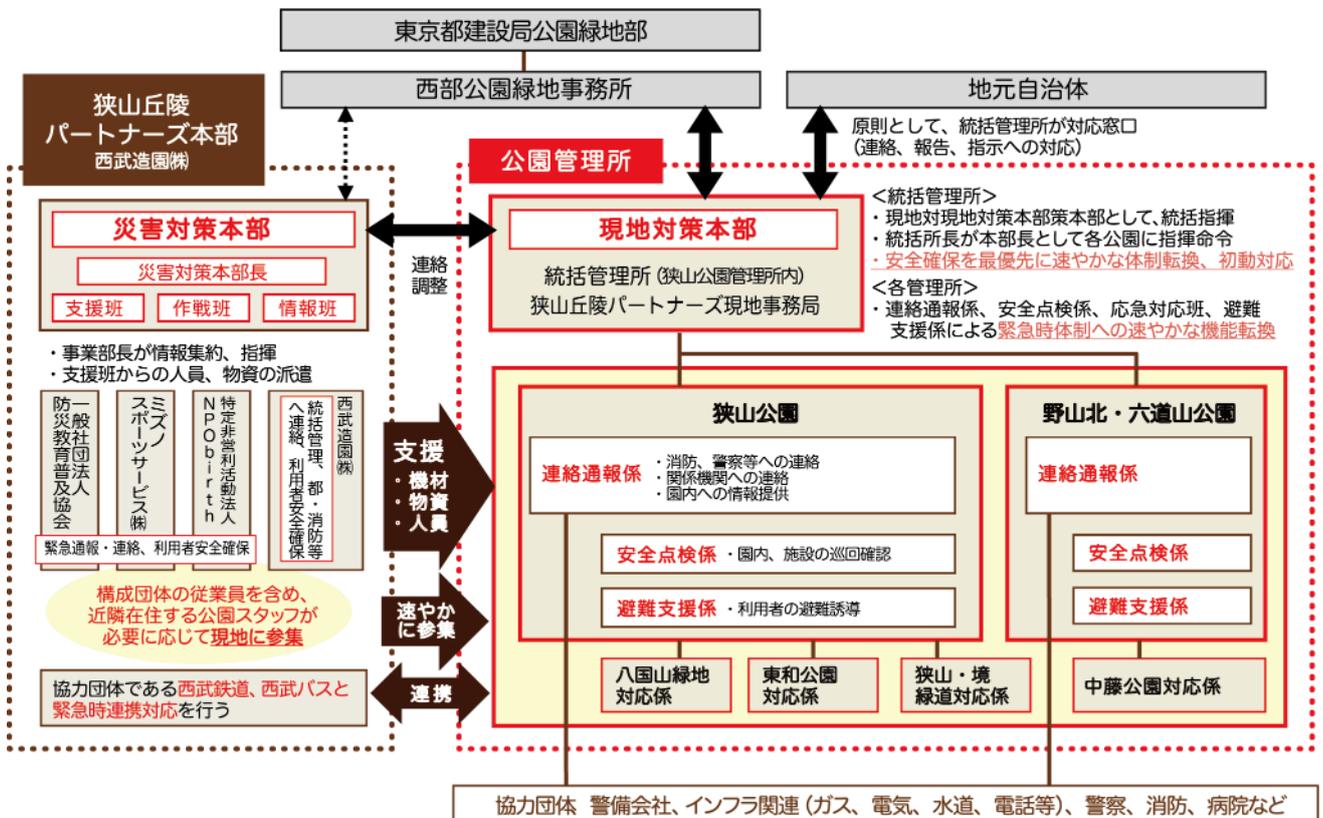


②夜間

- 夜間における組織体制、役割分担については、原則として平常時と同様の体制を整えます。
- 夜間に気象災害注意報や警報発令が予想されるときは、各管理所で状況に応じた「連絡体制」「待機態勢」をとります。
- 早朝・夜間に災害が発生した場合は、統括所長、および各公園所長の業務用携帯電話を通じて連絡を取り合うとともに、必要に応じて速やかに現地に参集します。利用者や地域住民の安全を確保するとともに、東京都・本部および関連機関との間で連絡・調整を行います。
- 桜花期や連続する施設損傷等、公園施設や周辺地域への迷惑行為が懸念される場合は、特別警備を行います。

③災害発生時

- 災害発生時には、下図のとおり、速やかな緊急時体制への転換を行います。パートナーズ本部には災害対策本部を設置し、支援班・作戦班・情報班を置きます。公園管理所には現地対策本部(狭山公園)を設置し、各管理所に連絡通報係、安全点検係、避難支援係を置きます。
- 管理所のない公園については、管理担当責任者を選任して復旧に当たります。
- 各構成団体は、機材・物資・人員等、必要な支援を行います。
- ALSOK安否確認システムを用いて、各スタッフの状況確認を行います。
- 代表企業と西武鉄道、協力団体等のネットワークにより、首都圏一円から資機材・人材等を投入することで、公園内の安全・復旧活動を加速させる協力・支援体制を確立します。
- 近隣の西武グループ企業、西武鉄道・西武バス等の公共交通機関、協力団体等の関係機関とも連携・支援体制を整え、公園利用者に最寄り駅の運行状況の掲出等を行います。
- 夜間の被災を想定し、構成団体の従業員を含めて各管理所に最短で参集できる担当者(応援要員)を選任します。



- 気象災害の場合は「気象災害対策計画書」「雪害対策計画書」に基づき、また震災の場合は「震災時利用計画」「震災の手引き」「安全対策マニュアル」に基づいて参集し業務を執行します。
- 初動対応として利用者の避難誘導・安全確保、園内・施設の点検を行い、迅速に東京都及び本部に報告します。また情報の集約と早期対応策を計画し、実行に移します。
- 被害があった場合は、立入や利用を禁止にする等、安全確保措置を最優先し、二次被害の拡大を防止します。
- 西武グループのBCP(事業継続計画)により、公園の早期復旧に向けたバックアップをします。

(3) 人材の確保と職員の技術・能力向上への取組

1 人員の確保、配置の方針

当パートナーズで働くスタッフは、各々が主体性を持って役割を果たし、管理運営に欠かせない大切な「人財」となっています。その人財がさらに活躍し、よりよい公園の管理運営に活かしていけるよう、人員体制を構築します。

- **人材確保** 現在のスタッフを中心に、年齢や性別等に関係なく、管理運営に必要なノウハウ、求められる資質等を持つ人材を確保。また、全体をトータルマネジメントできる経験豊富な人材を確保。
- **人材配置** 個々の能力やチームバランスを考慮し、適材適所を実施。
- **人材育成** 公園管理に必要な基礎的、専門的技術や能力のレベルの向上、継続的なモチベーションの向上に繋がる取組を実施。
- **労務環境** 働きやすさや生きがい等、個々の能力やライフステージに応じた、柔軟な配置・働き方のできる環境を整備。



管理事務所の受付風景

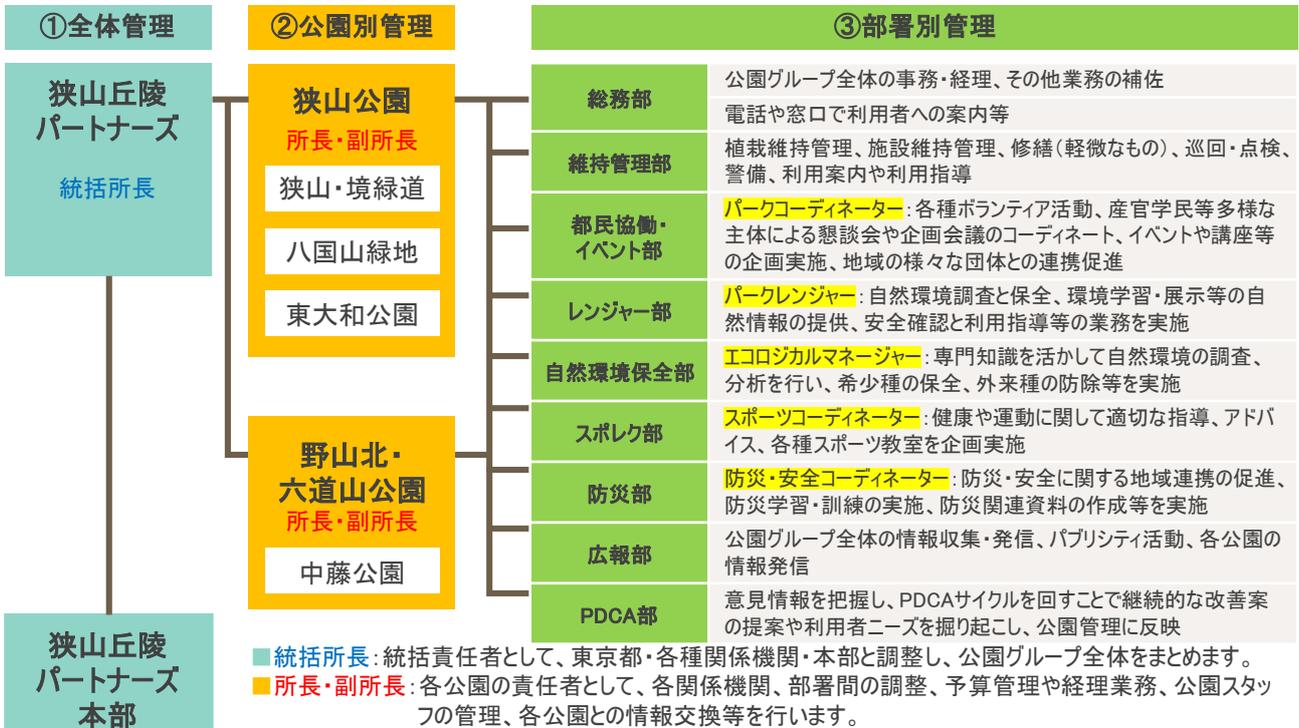
「豊島区ワークライフ・バランス推進企業」に認定
(西武造園)



2 人員確保・配置及び業務執行体制

当グループを効率的かつ効果的に管理するため、全ての公園を統括する「①全体管理」、公園毎に正確に、確実に管理する「②公園別管理」、部署毎に専門性を発揮する「③部署別管理」の3つの管理体制によって業務を実施し、「公園管理運営士」等の有資格者をはじめ、各部署の業務内容に適した専門的なスキル、「造園施工管理技士」、「自然再生士」等の有資格者等を配置します。

これらの人員体制によって業務を執行するにあたり、管理系統や部署を跨いだ情報共有、相談・検討を進めるための定期的なミーティング等を実施し、臨機応変な対応ができる体制を構築します。



事業計画の作成、予算管理、事業執行の決裁、全体の管理水準、履行状況の確認、東京都・関連機関との協定・委託料等に関する連絡調整、安全・品質・コスト・労務管理、広報、繁忙期・緊急時支援等

広報戦略担当

公園の魅力向上や利用促進を効果的に高めるため、グループ全体の事業を踏まえ、公園と地域・人を結びつける戦略的な広報を担当

DX推進担当

指定管理業務全般におけるDXを促進させるため、多様な企業と連携し、公園での最先端テクノロジー活用の可能性を発掘、展開を担当

DX

ランドスケープマネージャー

公園の風景づくりや安全管理、アメニティ・ユニバーサルデザイン等の専門知識をもち、各公園の点検、技術指導等を担当

リソースマネージャー

水と緑のネットワークを形成する自然環境、公園周辺の歴史文化資源の魅力を最大限発揮するための企画・プランニングを担当

3 職員の技術・能力向上の取組

定期的な研修や視察、OJT等により、全スタッフに徹底した教育を行い、公園管理運営に必要な知識・技術の向上を図ります。特に**防災・安全管理**、多様な障害者を想定した**ユニバーサル接遇**をはじめ、様々なタスクをこなせるように力を入れます。

また、協会社等、公園管理運営に携わる団体・個人が情報や技術を共有できる機会として、**定期的な会議や研修**を積極的に行います。



サクラの専門家を招いた内部研修



ONLINEで集まりやすくなったみんなカフェミーティング

① スタッフ研修	スタッフの基礎知識・技術の習得 (全スタッフ対象)	接遇、個人情報保護、普通救命技能研修(心肺蘇生法及びAED)、緊急時対応、ユニバーサル研修、コンプライアンス研修、防災無線訓練等、基礎技術研修を定期的実施。構成員である(一社)防災教育普及協会のノウハウを活かした防災に関する学習会、園内の自然環境・歴史や地域の基本情報についての研修等を実施。
	導入研修の実施 (新規スタッフ対象)	新規に採用したスタッフについては、当パートナーズが目指すビジョンや、公の施設の管理運営に求められる知識やスキルが身に付く研修を実施。
	専門的技術向上のための人材育成 (各部署常駐スタッフ対象)	外部講習やシンポジウムへの参加、国内外先進事例の視察、ワークショップ形式でのスキルアップを実施。内容としては、パークマネジメント、維持管理・安全管理、動植物保全・生物多様性、インタープリーション、ボランティアコーディネーション、広報、公金研修等(各部署ごとに年1回以上)。各種資格の取得を推奨。
	OJTによる人材育成	日常業務の中で円滑かつきめ細やかな研修業務を遂行するため、OJTを実施。特に新人スタッフには、基本的なパソコン操作の研修やパートナーズの管理運営方針の確認等の研修を実施(随時)
② 情報・技術の共有化等	本部会議	構成団体の責任者が参加(月1回)。履行状況や事業内容の確認、課題への対策、スタッフ能力向上の取組等について話し合う。目標達成のための戦略的な意見交換を行う。
	スタッフミーティング	《全体ミーティング》公園全体のビジョンの確認、日常の管理運営における問題点を話し合う。 《チーフ会議》各部署の責任者による事業執行管理、企画立案および情報交換。 《朝礼、終礼》管理所毎に朝礼、終礼を実施し、日々の管理運営に関して情報共有を行う。
	協会社等との情報共有	維持管理を担う協会社のスタッフも、自分自身及び利用者への安全管理や接遇に関する情報を、日々の朝礼時及び安全会議を設けて共有。普通救命技能研修を協会社にも実施。
	各種マニュアルの整備	これまでの指定管理実績等から培ったノウハウを踏まえ、独自の各種マニュアルを作成し、協会社等を含めた全スタッフが習得する。 《パートナーズで整備しているマニュアル》安全対策、接遇、ユニバーサルデザイン、個人情報保護、植栽管理、トイレ清掃基準、委託業者入場、災害時初動、規制帯設置、イベント運営ほか
③ 自己研鑽	自主学習機会の提供	公園管理に関するテーマごとに希望者が集まって意見交換する「みんなカフェミーティング」を開催。西武グループが整備している、ITを活用したスキルをいつでも、誰もが、好きな時間に学習できる「ITあゆむ」、「ITまなぶ」により、公園管理に必要なIT技術を自己研鑽できるオンラインの学習機会を提供。
	モチベーション向上	公園や緑地に関するコンクールの応募、学会への論文投稿、社内コンクールの実施等、公園管理で培った技術や知見を社内外に積極的に発信。
	自己研鑽の支援	個々の意欲やレベルに応じて自己研鑽をさらに進めるよう、資格取得のバックアップを実施。

DX

4 労務環境の向上

都民への良質なサービスを提供するためには、良好な労働環境を整え、スタッフが心身ともに充実した状態で働くことが必要です。私たちは、**各構成員ごと**に働きやすさや生きがい等、個々の能力やライフステージに応じた、柔軟な配置・働き方のできる労務環境を整備しておりますが、下記の取組により、**コンソーシアムとしての良好な労務環境を確保**していきます。

- 各構成員の就業規則に基づき、個々のスタッフの労働時間や休暇や休日の取得状況等を把握し、労働基準法を遵守します。
- 労働環境の悪化が懸念される場合は、パートナーズ内で協力体制を構築し、改善を図ります。
- 本部会議等で解決しない課題については、「企業倫理ホットライン」を設けており、必要に応じて従業員が専門家の助言・支援を受けられる環境を整えています。



3. 運営管理計画

(1) 都立公園の管理運営についての実施方針と具体的取組

1 新たな時代のニーズに応じた管理運営の実施方針

これまで私たちは、時代の変化や利用者ニーズに応じた管理運営を実践してきました。しかし、急速なデジタル技術の普及、利用者の志向や生活様式の変化、感染症の拡大等に対し、より迅速で臨機応変な社会課題の解決、利用者のニーズや満足への対応が求められています。

そこでこれまでの**管理運営の品質を維持**しながらも、「未来の東京戦略」に示されている4つの基本戦略①**バックキャストの視点**で将来を展望し、②**多様な主体と協働**して事業を推進、③**DXで運営管理の効率化**を図り、④**変化に弾力的なアジャイル対応**に基づき、ニーズに柔軟かつスピーディーに対応する管理運営を実施します。

2 環境の変化や新たなニーズに応えるための具体的な取組

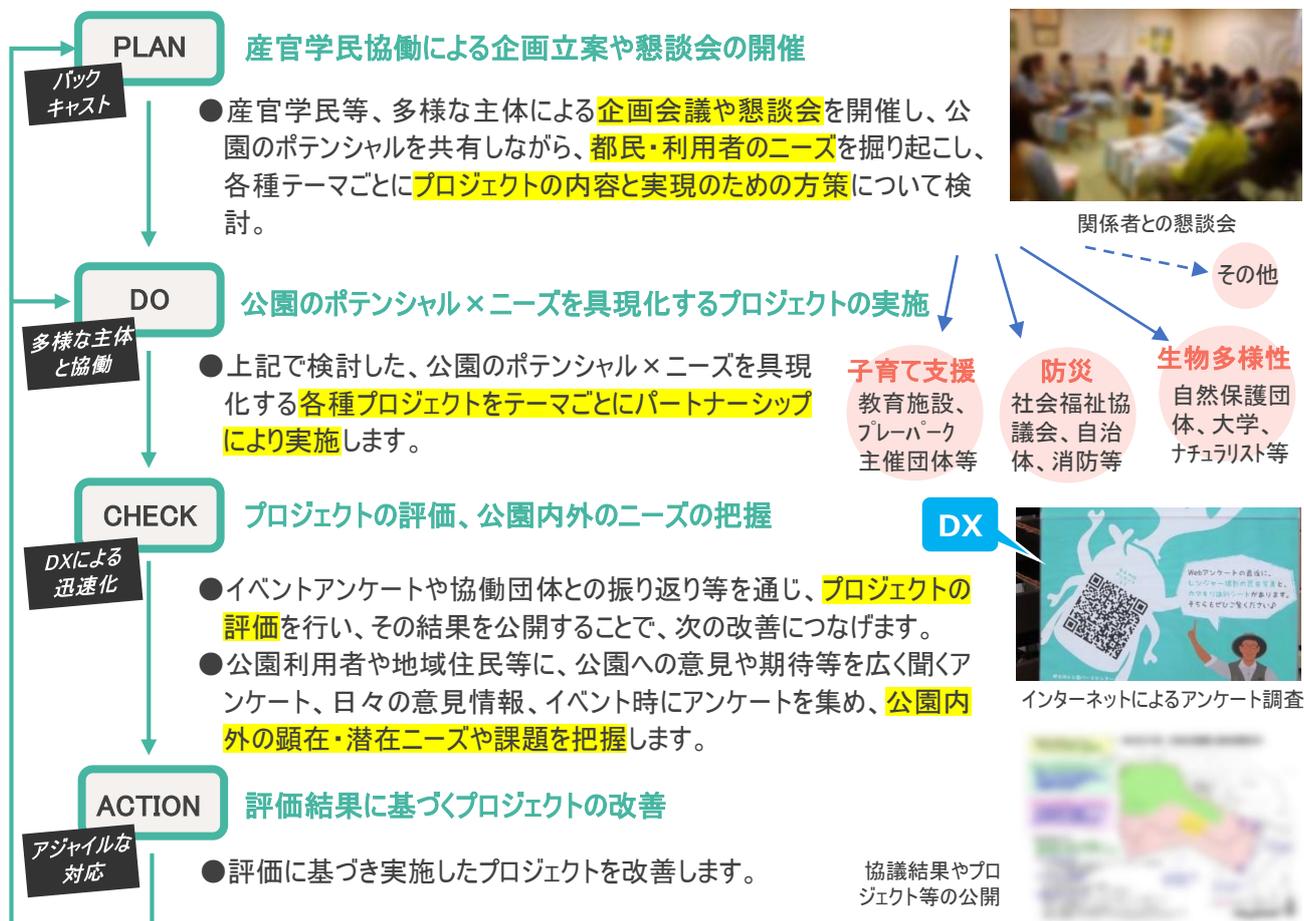
地域社会との交流、産官学民との協働による意見交換、インターネットによるアンケート調査、公園に寄せられる苦情要望を通じて、都立公園を取り巻く環境変化や都民ニーズ、社会課題をスピーディーに把握し、管理運営計画を作成、実施。利用者アンケートにより、スピーディーに事業を評価し、改善を加えるPDCAサイクルで事業を実施します。

①公園のポテンシャル分析の見直し

- 都立公園に解決を期待される社会課題、都民ニーズを客観的に把握するために、**東京都のパークマネジメントプラン**に基づき、**公園特性**(上位計画、立地特性、利用状況、課題等)と**地域特性**(自然、歴史文化、施設、活動団体等)の公園のポテンシャル分析を見直します。



②公園のポテンシャル×ニーズを迅速に管理運営に反映する、PDCAサイクルの推進



3

公園特性、利用特性を踏まえた公園別管理運営の実施方針

私たちは、公園の性格や立地条件、利用者の特性を踏まえ、管理運営の基本理念である、現代社会の持つ様々な社会課題を解決し、持続可能な公園づくりを実現する「サステナブルアクション」として、以下の実施方針に基づき、管理運営を進めます。

公園名	「サステナブルアクション」の各公園の実施方針	
<p>狭山公園</p>	<p>狭山丘陵を楽しむ子育て支援と観光連携の拠点</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これまで実施してきたキッズレンジャー等の各種自然体験プログラムや親子向けのサービスを拡充します。また今後整備予定の親子体験施設を拠点に、地域の子育て支援団体とも連携しながら、子ども達の生きる力を育むフィールドとして、子育て支援を推進していきます。 ●丘陵地には貴重なオープンスペースがあり、集客イベントを開催しやすい特性を活かして、自治体と連携した観光イベントの開催、「あつらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」等により、狭山丘陵の活性化に向けた地域連携を進めます。 ●開放感のある自然豊かな環境を活かし、コロナ禍で需要の高まった公園の利用ニーズに応えられるよう、健康づくりの場、自然体験の場としてのサービスを拡充します。 	
<p>狭山・境緑道</p>	<p>狭山丘陵につながる魅力あふれる緑道</p> <ul style="list-style-type: none"> ●生活道として、また自転車道として、多くの人々が利用する緑道であるため、マナー向上や、長距離でも効率的に維持管理できるDXの推進、狭山丘陵の情報発信等、誰もが安全に、気持ちよく利用できる取組を進めます。 ●狭山丘陵、多摩湖自転車道につながる緑道として、沿道の公園緑地と連携しながら、緑のネットワークづくりに貢献します。 ●ガーデンパートナー制度を継承し、都民とともに景観づくりを進めます。 	
<p>八国山緑地</p>	<p>地域連携で水と緑のネットワークを拡充する緑地</p> <ul style="list-style-type: none"> ●周囲の緑地と連携しながら良質な緑地を保全するとともに、隣接する小学校と連携し、地域の自然を学び育む体験の提供により生物多様性向上に取組みます。 ●広域避難場所として、有事の際の円滑な活用ができるよう、自治体、近隣施設等と連携した防災訓練や会議の継続、公園内外の安全点検や対策等、地域防災力を向上させていきます。 	
<p>東大和公園</p>	<p>雑木林博物館として、次世代に引き継ぐ雑木林</p> <ul style="list-style-type: none"> ●これまでのアカマツ林の再生や、雑木林保全の仕組みを継承しつつ、雑木林博物館として、新しい次世代雑木林のモデルを確立します。 ●これまで進めてきた、ボランティアと協働による子どもが遊べる森づくりを活かし、フィールドミュージアムとして、様々な体験プログラムを展開します。 	
<p>中藤公園</p>	<p>歴史や文化の魅力を発信するマイクロツーリズム推進の場</p> <ul style="list-style-type: none"> ●豊かな自然環境や、地域の歴史文化資源をより多くの人に発信するため、眺望や解説の充実等を進めてきました。さらに地域のマイクロツーリズムを推進する機能を拡充します。 ●近隣の緑地と連携による多様な生物の生息場所としての環境を適切に管理し、狭山丘陵全体の生物多様性に寄与します。 	
<p>野山北・六道山公園</p>	<p>協働による新しい里山文化と資源循環を創造するフィールド</p> <ul style="list-style-type: none"> ●都立公園で唯一の里山体験エリアを、これまで培ってきた「都民協働による循環型パークマネジメント」を継承・発展していくため、里山民家事務所のリニューアルを機に都民協働の拠点としての機能を拡充し、幅の広い世代や企業、団体等と連携し、狭山丘陵の文化を次世代につなげます。 ●脱炭素に向け、管理等で発生した材の活用促進や、イベント開催による啓発等を通じて、資源循環の取組を進めます。 ●トウキョウサンショウウオ、カヤネズミ等多様な希少種保全の取組を展開し、成果が上がっています。そのノウハウを活かし、広大な谷戸田や雑木林、草地等多様な環境を有し、東京都の生物多様性保全の核となる当公園だからこそ実現できる生物多様性の保全を推進します。 	

(2) 質の高いサービスを提供するための具体的な取組

1 質の高いサービス提供の考え方

当グループの公園特性を踏まえ、これまでの取組を継承発展させるとともに、デジタル化の普及、ライフスタイルの多様化等、時代の変化に対応したプログラムやサービスを展開し、公園の利用促進・活性化、サービス水準の向上につなげます。

DX デジタル技術を使ったサービス向上の取組

2 利用促進のための取組

公園からの発信と、地域ぐるみの発信で、より多くの人に公園の魅力を伝え、利用促進を進めます。

■ 地域ぐるみの魅力発信 : 公園を拠点とした効果的な地域活性化、利用促進を図る取組

New

① 公園の広報・ブランディング強化を図る「Park Branding Labo」の設置

今までの概念にとらわれないより幅の広いターゲットに、公園の情報や魅力が伝わり、新たな利用促進につなげるため、**多摩地域に密着したローカルメディア**と連携し、公園や地域にあった広報やブランディングを推進する「Park Branding Labo」(パークブランディングラボ)を設置します。

具体的取組

- 定期的な企画会議を実施し、ウェブサイトやSNS等の戦略的な広報、ブランディング強化の新規事業等を展開します。
- 「公園をフィールドに何かやってみてみたい！」方々を招き、気軽にディスカッションする「Park Branding Labo - Open day(仮)」を実施。公園での利活用や課題解決について意見交換を行い、**新たな利用促進やサービス向上につながるプロジェクトを生み出す場**を創出します。具体化は「あったらいいなをみんなで作る公園プロジェクト」により実現します。

📍3(4)都民協働へ



■ 公園からの魅力発信 : 効果的な情報発信や、充実したサービスにより利用促進を図る取組

② ターゲットを想定した情報ツールによる情報発信

世代、障害、国籍等、情報の受取手やイベントのターゲットを想定し、それぞれがアクセスしやすい方法で多くの人に公園の情報や魅力を伝達できるよう、情報ツールの活用・改良を進めます。

具体的取組

- 誰もが正確な情報が得られる、**ホームページ**(多言語化、視覚弱者、スマホ対応等)
- 旬な公園の様子やイベント情報をタイムリーに伝える**SNS**
- IT弱者にも対応できる、近隣施設や公共施設等で**配布する紙媒体**(パンフレット、イベントチラシ、情報誌きてみて!等)
- **動画**による公園の魅力発信(Youtube等)
- **多様なメディアを活用**した魅力発信(西武鉄道を中心とした公共交通機関、地域誌、FM等のローカルメディア、自治体広報、TV・雑誌等のマスメディア等)
- **インバウンド回復に向けた取組**(パンフレット等の多言語化、インバウンドを対象としたwebメディア連携等)

DX



動画での情報発信
(日本語、英語)



西武鉄道と連携による
情報発信

③ 多様なサービスを提供する、来園しやすい拠点づくり

管理事務所をアメニティ、ホスピタリティ、ユニバーサルサービスの拠点として、**誰もが気軽に来園しやすいサービス**を提供します。

具体的取組

- 高齢者・障害者向け: 筆談サービス、車いすの貸出、遠隔手話サービス等
- 観光客向け: 地域情報コーナー等
- 親子向け: 授乳、おむつ替えコーナー等の設置、パークエンジョイセット貸出等

New

DX



管理所サービス

3 サービス水準向上の取組

各専門スタッフの配置により、ニーズを的確に捉え、専門的視点で迅速に、きめ細やかに対応することで、常にサービス水準を向上させていきます。

① 子どもから大人まで！狭山丘陵ならではの「ホンモノ体験」を提供！

公園や地域の自然・文化に詳しいパークレンジャーを配置。世代やニーズにあわせた多様な自然体験プログラムを展開し、狭山丘陵の「今」を伝えます。

具体的取組

- 小学校・中学校等の総合学習や体験活動の受入れ
- 0歳～大人まで、多様な世代が楽しめる自然体験プログラムの実施（自然あそびプログラム、キッズプログラム、ガイドウォーク等）
- キッズボランティア活躍の場を拡充（キッズレンジャー、親子じっくり田んぼコース等）
- いつでもだれでも楽しめる！セルフガイドプログラム（ドローンを活用した動画配信、レンジャーミニ図鑑、自然観察グッズの貸出等）
- 自然を伝える季節展示（いきもの情報ボード等）
- 狭山丘陵のマナーアップキャンペーン（野鳥観察、自転車利用等）

DX



パークレンジャー

② 多様なニーズに応える、健康づくりや魅力向上のプログラム拡充

スポーツ・健康づくりの普及を専門とする「スポーツコーディネーター」を新たに配置し、狭山丘陵をフィールドに健康づくりの機会を拡充します。また都民協働や地域連携を専門とするパークコーディネーターにより、多様なニーズや社会変化に応え、公園の魅力を高めるイベント・プログラムを展開します。

具体的取組

- 狭山丘陵をフィールドにした健康づくりの機会を拡充（キッズ＆親子スポーツプログラム、ノルディックウォーキング等）
- 多様な主体と連携し、公園の魅力を高める、各種イベント・プログラムを展開します。



③ 安全で快適な利用を支える体制・環境の拡充

法令等に基づく管理運営を進めるとともに、ランドスケープマネージャーが企画運営するランドスケープチェック、安全パトロール等の定期的な点検・技術指導や、防災・安全コーディネーターの知見を生かした防災訓練や啓発イベント等、誰もが安全・安心で、快適な利用を支える環境・体制を拡充します。

具体的取組

- ランドスケープチェックによる、眺望景観、フォトスポット、居心地の良い広場づくり等、より公園の魅力を高める風景づくり
- 安全パトロールによる利用者・作業者の安心・安全な環境づくり
- 地域と連携した防災訓練、啓発イベントの開催
- 全スタッフで危険・注意情報等をタイムリーに情報共有できるパコモコの運用
- 各種イベント等の申込のデジタル化により利便性を向上

DX



ランドスケープマネージャー



防災・安全コーディネーター

4 集合型イベントを実施できなくなった場合の代替の取組

- 集合型のイベントを開催することができなくなった場合に備え、各イベントにおいて、延期、分散、非接触化等への変更をあらかじめ設定し、参加者に周知します。
- オンライン配信に関しては、現場に必要な機材等を準備し、日常的にリアルとオンラインの同時開催のプログラムを実施してスタッフによる配信技術を磨きます。
- 感染症等の流行に備え、通常のイベント開催においてもオンライン予約、キャッシュレス決済等非接触化を進めます。

DX

DX

集合型イベントができなくなった場合

延期

開催日程を変更

分散

一度に集まる人数を制限
・日程分散
・時間分散
・複数会場等

非接触化

集しなない形式に変更
・オンライン配信
・セルフ参加型等

(3) 利用者要望の把握方法と管理業務への反映方法

1 基本的な考え方

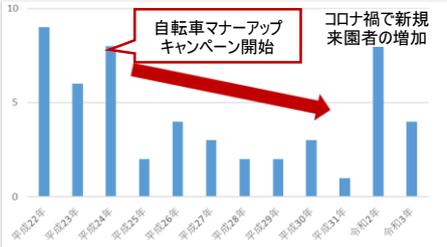
指定管理者は、公平・平等に利用者の声を把握し、業務に反映する義務があります。私たちはこれまでPDCAマネジメントサイクルに基づき、利用者の声を的確に把握し、業務に反映することにより、公園の質を向上させてきました。今後も継続的に利用者の意見を把握し、業務に反映することで、さらに**利用者の信頼と満足度を向上**していきます。

2 利用者要望の取扱いの仕組み



3 利用者の苦情・要望の反映事例

全ての利用者に対して誠実で平等な対応を行います。基本的には、①相手の意見をよく聴き**事実を確認**する、②よく**話し合う**、③公園の運営に**反映する**(必要に応じて広く意見交換を実施)の3つの手順によって対応します。意見の内、特に“苦情”については、「公園を改善する良い機会」であると捉え、相手の話をよく聞いた上で、公園の理念や方針をわかりやすく説明し、**相互理解を進めます**。合意が得られない場合は、**様々な人との意見交換**により、解決策を検討していきます。

テーマ	公園の隣接住民からの要望について	自転車マナーについて
利用者からの意見	隣接住民より、樹木越境・雨水・土砂の流出に関する問い合わせが寄せられた場合。	「自転車で来園する人のマナーが悪い、自転車乗り入れを制限するべきだ」との苦情があった場合。
考え方	まずは現地の状況を把握し、危険性を確認する必要がある。 激甚化している災害に対し、土砂や倒木等への不安が募っていることが考えられる。	自転車を排除はできない。また、環境に優しい交通手段、里山を楽しむツールとして、活用してもらいたい面もある。歩行者への配慮、環境保全等を利用マナーとして理解してもらう必要がある。
取組の内容	<p>①維持管理部で現地調査し、危険性の有無を確認。パクモニにて、現場でこれまでの管理履歴や意見情報を把握。</p>  <p>現地調査の様子</p> <p>②現地調査した内容を要望者へ説明。要望者と一緒に現地を確認し、意見交換を行う。</p> <p>③意見交換の内容を踏まえ、具体的な対応方法を提案。その考え方や具体的な施工方法を資料や事例をもとに、要望者が理解、納得のいくまで説明。</p> <p>④要望者の理解を得て、施工を実施。施工後にも巡回やヒアリングを行い、状況を確認する。</p>	<p>①「優しい運転お願いします」等自転車のマナーを呼び掛ける注意看板を、自転車ユーザーが利用する場所に設置。</p> <p>②地元のマウンテンバイク愛好団体と連携し、平成24年度より自転車マナーアップキャンペーンを実施。動画配信やポスター掲示の他、マナー紹介パンフレットを効率的に配布。</p>  <p>マナーアップキャンペーン動画</p> <p>③初心者向けのマウンテンバイク乗り方教室や狭山丘陵を巡るツアーを開催し、マナーを守り楽しむ方法をレクチャー。</p>
成果今後の対策	近隣住民が安心して生活できる環境を提供し、その後の良好な関係性を確立。	<p>自転車のマナーに関する苦情・要望が激減したが、コロナ禍での新規来園者増加時に、再燃が見られた。SNS活用、動画配信、自転車イベント等を通じて新たな利用者へのマナー啓発を行い、マナーアップの協力者を増やしていく。</p> <p>自転車マナーへの意見数の推移</p>  <p>平成22年 平成23年 平成24年 平成25年 平成26年 平成27年 平成28年 平成29年 平成30年 平成31年 令和2年 令和3年</p> <p>自転車マナーアップキャンペーン開始</p> <p>コロナ禍で新規来園者の増加</p>

(4) 都民協働や地域コミュニティとの連携による公園の魅力や地域の価値の向上につながる取組

1 基本的な考え方

私たちはこれまで、東京都の上位計画等をふまえ、広域的な視点を持った「都民協働による循環型パークマネジメント」を実践し、**多様な主体との協働による自然保全や活用**、さらに**丘陵地が一体となった広域的な保全活用や観光振興等**に取組み、大きな成果をあげてきました。

今後も公園を軸に地域の価値を高める取組みを推進するため、都民や地域との連携による公園づくりを進める**専門スタッフ「パークコーディネーター」**が、これまで築いてきた協働・連携の実績や狭山丘陵に関わる方々との広域的な連携を継承・発展させ、**多様な主体とのパートナーシップで、狭山丘陵が一体となった「サステナブルアクション」**に取組みます。



パークコーディネーターの役割

- 協働・連携事業における課題の抽出と解決策の提案
- 新たな協働・連携主体の掘り出し
- 公園や地域の価値を高める企画・提案等
- 公園に関わる多様な団体・都民との関係づくりや活動の活性化



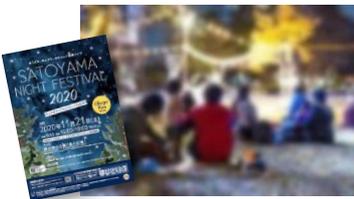
都県境を超えた狭山丘陵に関わる方々と共に作成した「狭山丘陵絵図」

2 具体的取組

① サステナブルアクションを地域と共に実現する「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」

地域市民や団体、企業等が公園をフィールドに「あったらいいな」「やってみたい」と企画したイベントや事業を共に考え、**協働・連携で実現する「あったらいいなをみんなでつくる公園プロジェクト」**を実施。地域団体や行政等と連携したイベントや企業等と連携した社会実験等、公園の利活用を推進し公園・地域の魅力向上や価値を高める様々な事業を通じて、狭山丘陵グループの管理運営の基本理念でもある「**サステナブルアクション**」を公園に関わる様々な方々と共に実現・実践します。

プロジェクト事例



東村山市や地域団体と連携した「さとやまナイトフェスティバル」



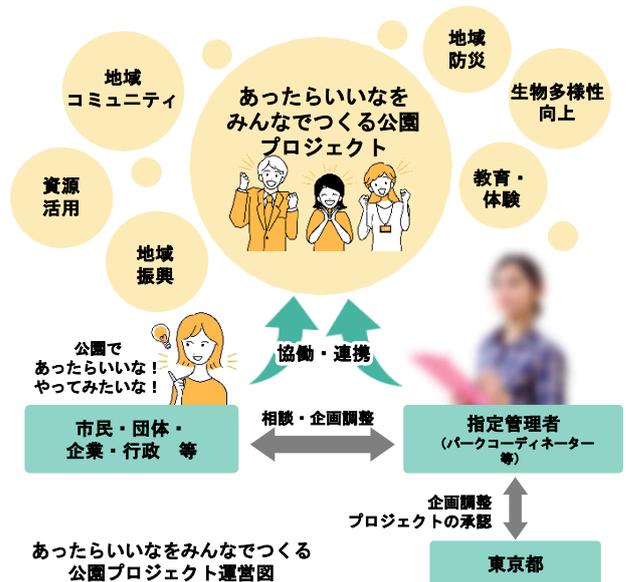
東京チェーンソーズと連携した「きこりたいけん」



地域アーティスト等と連携したイベント「おとのわ」



教育施設と連携した親子向け外遊びプログラム



② 狭山丘陵で活動する人を増やす！段階的なプログラムを提供

より多くの人に興味を持ってもらい、さらに公園を深く知ってもらう「楽しむ」「学ぶ」プログラムを通して、ボランティア活動をはじめとする協働の取り組みに発展していく**段階的なプログラム**を展開します。

都民の興味やライフスタイルにあわせて、公園に関わることができるため、単発的な関わりではなく、継続的な関わりを生み出し、狭山丘陵を共に育む仲間を増やします。また、仲間が増えることで、公園や狭山丘陵を軸とした**地域コミュニティを醸成**します。



《楽しむ》季節を感じる・公園を楽しむ機会の提供

- **季節イベント**の開催、**展示・空間演出**
(季節のお祭り、七夕やこいのぼり等の季節飾り、生きもの展示等)
- 0歳～高齢者まで、多様な世代が楽しめる**自然体験プログラム**
(自然あそびプログラム、キッズプログラム、ガイドウォーク等)
- 狭山丘陵の**文化や自然を体験するプログラム**
(ちょこっとボランティア体験、だれでも田んぼ体験、生きもの観察会、手もみ茶づくり体験等)



親子に人気！
「里山民家の田んぼ体験」

地元保存会
との協働
「まゆ玉かざり」



《学ぶ》狭山丘陵をもっと知れる、体験できる場の提供

- **公共の花壇づくり**に必要なノウハウを学ぶプログラム
(コミュニティガーデン講座等)
- **里山の資源活用**について学ぶプログラム
(里山スローライフ講座等)
- 里山の**保全活動**について学ぶプログラム
(里山サポーター、じっくり田んぼコース、雑木林ボランティア講座等)
- **地域防災、減災**を学ぶプログラム(防災プログラム等)



公共花壇について学ぶ
「コミュニティガーデン講座」



若い世代に人気！
「里山スローライフ講座」

《行動する》年間約7,000人が活動！行動できる活動の場を提供

- **公園ボランティア活動**の活性化
(野山北・六道山公園、狭山公園)
雑木林や田んぼ、農芸等多種多様なボランティア活動のコーディネート、新規ボランティアの募集、安全管理講習やスキルアップのための講座や勉強会等、ボランティアのニーズや課題に応じたスキルアップやモチベーションアップの機会等を企画・実施。
- 多様な主体とのパートナーシップによる**活動の場を拡充**
学校・団体・企業等多様な主体によるボランティア活動の受入れ。



0歳～80代まで多世代の
ボランティアが活躍！

地元団体や企業等
多様な主体が活動！
「自転車愛好団体による
外来種引き抜き」



③産官学民協働による企画立案や協議会・懇談会の開催

公園の特性や課題等にあわせた会議体をパークコーディネーターが企画・運営し、**地域のステークホルダーとの協働・連携**による公園づくりを推進します。



管理運営協議会



だれでも参加できる懇談会

- **管理運営協議会**の企画運営
・野山北・六道山公園協議会
・狭山3公園協議会 ・中藤公園協議会 等
- 多様な主体が参加できる**テーマ別懇談会等**の企画運営
・テーマ別懇談会(キッズミーティング等)や
New Park Branding Labo-Open day(仮)等
- 狭山丘陵の**広域的な会議体**の企画運営や参画
・狭山丘陵広域連絡会
・狭山丘陵フェア実行委員会
・狭山丘陵観光連携推進協議会 等

「狭山丘陵広域連絡会」



環境
保全

課題解決
の場

普及
啓発

地域
振興

広域連携の
拠点となる
会議体の運営、
参画を促進



「狭山丘陵フェア実行委員会」



「狭山丘陵観光連携事業推進協議会」

④狭山丘陵プロモーションの推進(自主事業)

公園や狭山丘陵の魅力を魅力をより多くの人々に知っていただくためのプロモーションを推進します。

- 狭山丘陵一体となった**情報発信**
(フリーペーパーの発行、動画配信等)
- 狭山丘陵が一体となった**連携イベント**
(SAYAMA HILLS DAY、フォトロゲイニング等)
- 地域と共に祝いする**アニバーサリーイベント**
(都市公園150周年事業、各アニバーサリー事業)
- **オリジナルグッズ**(SayamaHills Products)の制作・販売



狭山丘陵フリーペーパー



オリジナルグッズ



アニバーサリーイベント

(5) 公園の魅力向上と利用促進を図るための自主事業等の提案

1 基本的な考え方

自主事業は、指定管理料以外の財源を活用し、公園の魅力や新たな利用者サービスの提供を図るための事業であり、私たちは、**多様な主体と連携**しながら、公の施設として公園にふさわしい事業として、**東京都と協議し、魅力ある公園づくり**を進めます。

2 資金調達方法と公園への還元等

自主事業の費用は、イベント参加費等利用者から徴収するほか、ケータリングカーやCSR活動等の企業協賛や出店費、自動販売機や物販等の収益、都立公園サポーター基金、代表企業の事業費等を原資として実施します。これらの自主事業で得られた収益は、利用者サービスの提供やボランティア活動費等に還元します。

自動販売機やケータリングカーによる出店費等については、得られた収益の一部を公園の管理運営に**還元**することを明記し、利用者への理解を図ります。



3 事業内容と期待できる効果

凡例 全:全公園、狭山:狭山公園、緑道:狭山・境緑道、八国:八国山緑地
東大和:東大和公園、中藤:中藤公園、野山:野山北・六道山公園

①公園に新しい魅力を加える・利便性を高めるプロジェクト

公園や狭山丘陵の魅力をもっと多くの人に体験してもらえるよう、便利、美味しい！楽しい！等、新しい魅力を加える、利便性を高める事業を展開します。



事業名	内容	期待できる効果	実施公園
New 広報・ブランディング推進事業	ローカルメディアと連携した広報・ブランディングを展開し、公園や狭山丘陵の情報や魅力を発信（Park Branding Laboの企画運営、広報媒体の運用等）	・利用促進 ・地域振興	全
SayamaHills Productsの制作、販売	公園や狭山丘陵の魅力を伝えるオリジナルグッズの制作・販売	・公園の魅力伝達	全
パークリビングカフェ	ケータリングカーや地元飲食店の出店等、園地を利用した物販やカフェの実施	・利用促進 ・地域貢献 ・利便性、満足度向上	狭山・野山
アニバーサリープロジェクト	開園後の節目となる年に、利用者と共に開園記念をお祝いする取組	・利用促進	狭山・野山・中藤
マナーアップキャンペーン	野鳥観察、自転車等のマナー向上のキャンペーンを実施	・公園マナーの向上 ・野鳥観察、自転車等の苦情減少	全
パークモニタリングシステム	公園の管理運営を効率的かつ効果的に実施するための管理者用の自社開発アプリの機能向上・活用促進	・効率的管理 ・利便性向上	全
自動販売機の設置	利用者ニーズに応じた多様な自動販売機の設置	・利便性、満足度向上	狭山・野山

②里山環境を活かした心身のヘルシープログラム

里山の自然の中で体を動かし、心身共にリフレッシュする機会を拡充します。



事業名	内容	期待できる効果	実施公園
キッズ&親子スポーツプログラム	原っぱでキッズや親子と一緒に楽しめるスポーツキャラバンやプログラムの実施(走り方教室、ヘキサスロン、親子体操等)	・健康促進 ・子育て世帯利用促進	狭山・八国
里山ヘルシープログラム	里山環境を活かした健康づくりプログラムの実施(森林セラピー体験、パークヨガ、ノルディックウォーキング教室等) 連携:(株)リヴァ等	・健康促進 ・高齢者の利用促進	狭山・八国・緑道・野山
パークヘルシーチェック	準備運動や正しい運動方法をセルフチェックできるシート等の発行	・健康促進	全
障害者スポーツ体験	障害者スポーツを体験するプログラムの実施	・共生社会の理解促進	狭山

New

New

③狭山丘陵の自然体験やマイクロツーリズムを推進するプロジェクト

多様な主体と連携したイベントを開催し、狭山丘陵の魅力をより楽しんでもらえる機会を拡充します。



事業名	内容	期待できる効果	実施公園
SATOYAMA-Life CAMP	アウトドアメーカー等と連携した、里山民家で薪割りや焚き火体験等、宿泊しながら里山環境を満喫するCAMPプログラムの開催	・公園の魅力発見	野山
ツリーイング	鳥や動物になった目線で楽しめる、ロープを使った木登り体験プログラムの実施	・公園の魅力発見	八国
環境教育×DX事業	スマートフォン等を活用し、いつでも誰でも、気軽に公園の自然とふれあえる機会を創出(QRコードを用いた樹木紹介等)	・利用促進	狭山・野山
フォトロゲイニング	地図をもとに、チェックポイントを回り、写真を撮りながら時間内に得点を集めるスポーツの開催	・利用促進・地域振興・健康促進	全
Night Cinema	里山民家を活用し、シネマ鑑賞するイベントを開催	・利用促進 ・満足度向上	野山
狭山丘陵フェア	都県境を超えた各施設団体と連携し、狭山丘陵一体となった普及啓発を行うイベント 連携:狭山丘陵フェア実行委員会	・狭山丘陵の魅力発信・地域連携促進	全
狭山丘陵の魅力発信ツール	都県境を超えた狭山丘陵の魅力を効果的に伝える魅力発信ツールを制作(フリーペーパー、パンフレット、動画配信等)	・狭山丘陵の魅力発信・地域連携促進	全

DX

New

DX

④サステナブルアクションプロジェクト

多様な主体と連携したイベントを開催し、狭山丘陵の魅力をより楽しんでもらえる機会を拡充します。



事業名	内容	期待できる効果	実施公園
あったらいいなプロジェクト企画化	多様な主体からの企画提案の実現 ・地域と連携したプログラム・イベントの実施 等	・利用促進 ・地域振興・連携推進 ・利便性・満足度向上	狭山・野山
資源活用プログラム	園内発生材を使った薪割りやクラフト等、楽しみながら資源循環を体験するプログラムの実施	・持続可能なライフスタイルの啓発	狭山・野山
資源循環推進事業	資源循環の仕組みづくりとして、伐採した枯損木等の廃材を薪やチップ、ベンチ等に加工し、園内で活用や販売を実施	・資源循環推進	狭山・野山
生物多様性向上の取組支援	外来種防除や希少種保全に関わる事業の資機材購入等	・生物多様性向上	全
企業や団体等の受入れ	要望に応じ、団体向けのガイドウォークや里山保全活動を行いたい企業のCSR活動受入れを実施	・保全活動の促進	狭山・野山

New

(6) 東京2020大会レガシーを継承する取組

1 レガシー継承の考え方

東京2020大会に向けて、競技施設だけでなく都立公園においても、**スポーツや健康づくりに関する取組**、**ユニバーサル社会実現に向けたサービス**、**都民と共に大会を盛り上げる様々な取組**等が展開され、以下に挙げるような、ハード・ソフトの様々なレガシーが残されました。公園の管理運営において、これらのレガシーを財産として継承し、「未来の東京」の実現、「世界から選ばれる都市」づくりに貢献していきます。

都立公園における、主な東京2020大会レガシー



2 継承する具体的取組の提案

レガシー①: スポーツ・健康づくり習慣の高まり

東京2020大会の開催において、スポーツや健康づくりへの意識が高まり、習慣化されてきています。

今後、このスポーツ・健康づくり習慣のレガシーを継承していくため、**専門スタッフとしてスポーツコーディネーターを配置**し、狭山丘陵をフィールドに、公園特性に応じた健康づくりの機会を提供します。

公園特性に応じた健康づくりの機会の提供

具体的取組

■ 正しい運動方法をセルフチェックできるシートの発行

・スポーツガイドシート、運動案内と公園マップ、ウォーキング、ノルディックウォーキング、ストレッチ、怪我防止、準備運動や正しい運動方法をセルフチェックできるシートを発行します。(全公園)

■ スポーツ総合イベント「チャレンジキャラバン」等の開催

・スポーツや健康づくりに関するプログラムを集中して開催し、子どもから高齢者まで多世代が楽しめるイベントや夏休みの子ども向けイベント等を開催します。(狭山公園、八国山緑地)

■ 公園特性を活かした健康づくりプログラムの開催

・森林セラピー体験、パークヨガ体験、ノルディックウォーキング体験会等、里山の自然の中で心身共にリフレッシュするプログラムを開催します。(狭山公園、狭山・境緑道、八国山緑地、野山北・六道山公園)



その他の具体的取組

構成団体のミズノスポーツサービス株式会社では、**オリンピックレガシー**を継承するため、以下の取組みを拡充しています。これらの取組を**公園の管理運営に活かして**いきます。

- **トップアスリートによる地域スポーツ振興**: プロの技術や精神の直接伝授、参加者間の交流を促進するプログラムの開催(国内外で活躍した20競技のアスリート約300人が登録)
- **子どもの体力・運動能力の向上**: ミズノブランドの各種プログラム「ヘキサスロン」「ミズノ・スポーツ塾」「運動会必勝塾」等、運動が好きな子どもを増やすイベント・プログラムの開催
- **ミズノプレーリーダー**: 子どもがいまいきと遊べるような環境づくりと、子ども同士の主体的な遊びを見守る人材育成
- **ながら運動の提供**: テレワークの増加等に伴い、自宅やオフィスで簡単にできる運動として、運動不足解消をめざした健康プログラム「ながら運動」の提供



レガシー②: 質の高い施設のバリアフリー環境の整備

世界各国からの観光客や多様な障害を持った方々を迎えるため、当パートナーズにおいても、ユニバーサルチェックによるサインの改善や、起伏のある丘陵地公園でも里山を満喫できる「だれでも里山コース」の設置等を進めてきました。今後も段差のない社会づくりに貢献していく取組を継承していきます。



ピクトグラムを使った看板の整備

ユニバーサルチェックを通じたバリアフリーの推進

具体的取組

- ・だれでも里山コースの維持とその活用の促進(アウトドア車椅子の貸出、マップ・動画での紹介)
- ・ユニバーサル研修の継続
- ・ユニバーサルデザインチェックによる点検、技術指導の継続
- ・サイン、看板、解説板の多言語化、ピクトグラム化の継続



レガシー③: ボランティア活動の活性化

東京2020大会を契機にボランティア活動への関心が高まり、文化として定着化しつつあります。当パートナーズでは、ボランティアとともに花の種類を原産地情報とともに紹介するワールドガーデンづくりや、インバウンドや観光客に向けて地域ならではの里山の風景づくり等を実施してきました。今後も**ボランティア文化の裾野がさらに広がる**よう、**多様な活動の受入れ**、**多世代化の取組**を進めます。



狭山公園での花壇づくり

ボランティア文化の裾野を広げる、多様な活動の受入・多世代化の取組

具体的取組

- ・SNSや印刷物等により、ボランティア活動紹介を定期的に発信(全公園)
- ・だれでも気軽に参加できる「ちよこっとボランティア」の継続(東大和公園)
- ・親子が参加しやすいボランティア活動の拡充(狭山公園)
- ・学校、団体、企業CSR活動等のボランティアの受入の拡充(狭山公園、八国山緑地、野山北・六道山公園)
- ・ボランティアとの協働による季節の風景づくりや花壇づくりを継続(狭山公園、野山北・六道山公園)

レガシー④: インバウンド向け取組の推進

東京2020大会に向け、多くの来日が予想された外国人観光客や日本在住の外国人等、公園の魅力をより多くの人に伝えるため、多言語によるパンフレットやレンジャーガイドシート、動画の制作等を行ってきました。今後も**DX等を活用しながら、多言語化による公園の魅力伝達**を拡充します。



多言語対応したセルフガイドシート

多言語化によるインバウンド等への公園の魅力伝達

具体的取組

- ・管理事務所の窓口における翻訳機の設置 **DX**
- ・多言語に対応したパンフレット、セルフガイドシートの継続発行 **DX**
- ・QRコード活用によるセルフガイド、動画配信による多言語化の拡充
- ・外国人向け里山体験プログラム(野山北・六道山公園)

レガシー⑤: 共生社会への理解促進

東京2020大会におけるパラスポーツを通じて、障害を持った方々への理解が深まりました。当パートナーズでも障害者スポーツ体験会やユニバーサル研修等を実施してきました。今後も、**スタッフ対応**、**利用者同士の交流**、**スポーツ体験等を通じて**、障害の有無や文化の違いの垣根を超えて、多様な価値観を認め合う、共生社会の実現に寄与した取組を進めます。



障害者スポーツ体験会

障害者等との交流やスポーツ通じた共生社会への理解促進

具体的取組

- ・ユニバーサル研修を踏まえた、スタッフ対応の向上
- ・遠隔手話サービスを活用し、窓口対応を拡充(狭山公園、野山北・六道山公園) **DX**
- ・障害者スポーツ普及のための体験会の実施(狭山公園) **New**
- ・福祉団体との連携による花壇管理(狭山公園) **New**

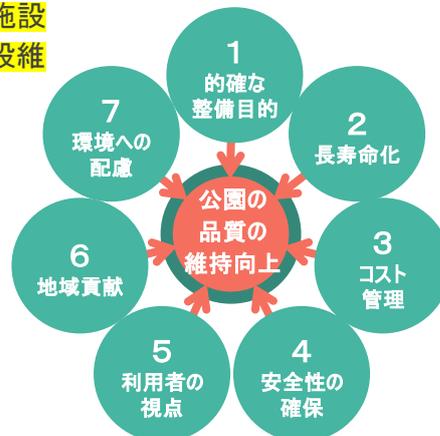
4. 施設維持管理計画

(1) 適切な維持管理を行うための取組

1 維持管理に対する基本的な考え方

私たちは、持続可能な公園の維持管理を進めるため、総合的に企画・管理・活用するファシリティマネジメントの手法に基づき、また各種関連法令等の遵守および東京都のパークマネジメントプラン等の整備方針に従い、**施設の品質の維持向上と中長期的視点に立った効率的かつ安定的な施設維持管理**を進めます。具体的には以下の7つの方針により実施します。

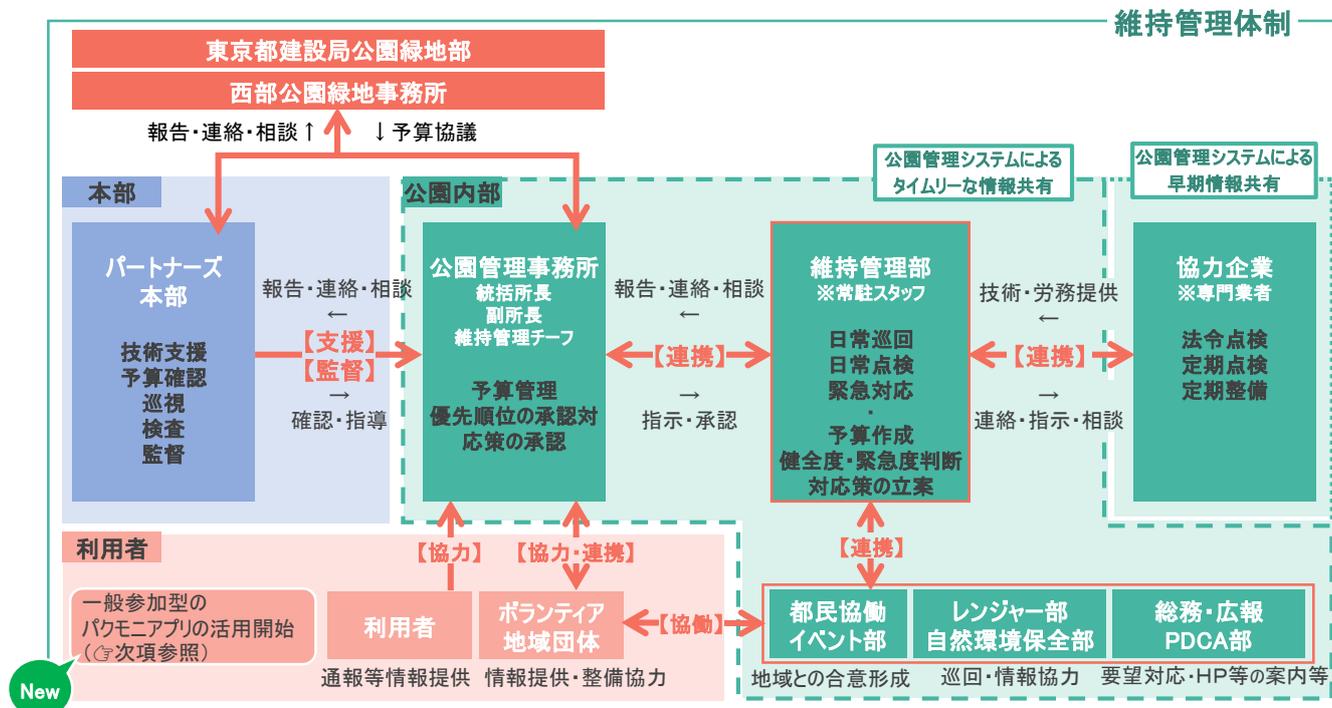
- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 的確な整備目的の反映…… | 利用頻度・健全度・緊急性に応じた整備計画 |
| 2. 長寿命化の実現…… | 早期発見・早期対応による施設の長寿命化 |
| 3. コスト管理の徹底…… | 本部の総合監理と現地対応を合わせた効率化 |
| 4. 総合的な安全性の確保…… | 維持管理情報のデータ蓄積による予防保全 |
| 5. 利用者の視点の重視…… | 利用者による情報提供の共有と反映 |
| 6. 地域のまちづくりへの貢献…… | 都民協働・地域連携による整備活動と景観向上 |
| 7. 地球環境への配慮…… | 維持管理業務を通じた気象災害への対応 |



2 品質確保にむけた業務管理体制

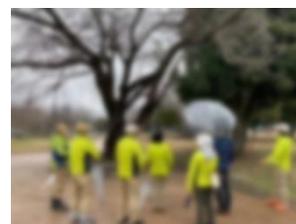
① 品質の維持向上のための施設維持管理体制

私たちは、**東京都の手引き、各種関連法令や指針・基準等を遵守し**、作業ごとの管理マニュアル、チェックシートを作成し、役割を明確化した**常駐スタッフによる日常巡回と、専門業者による定期点検**にて維持管理を的確かつ効率的に実施します。そして、今までの管理実績と経験値の他にオリジナルの公園管理システム(パークモニタリングシステム)を活用したタイムリーな情報共有で、**早期発見・早期対応と予防保全**を可能にします。さらに**施工維持管理事業を主体事業のひとつとするパートナーズ本部の代表企業による技術支援・コスト管理・検査監督の実施と、多角的な視点(公園内部、本部、利用者)を踏まえたPDCAマネジメントサイクル**を運用し管理水準の向上と安定的な品質確保を確実にします。



② 施設維持管理体制の強化

常駐の維持管理スタッフによる**日常管理**と協力企業による**専門性の高い点検**の他に、**パートナーズ本部の専門スタッフと管理所のスタッフによるパークスキャン**(③次項)の実施や**パークモニタリングシステム**の活用により多様な視点での漏れのない品質管理が実現します。さらに、造園業務の経験をもつ人材や専門性の高い人材を常駐スタッフとして配置し現地での**早期かつ適正な判断と対応**を行います。



パークスキャン実施状況

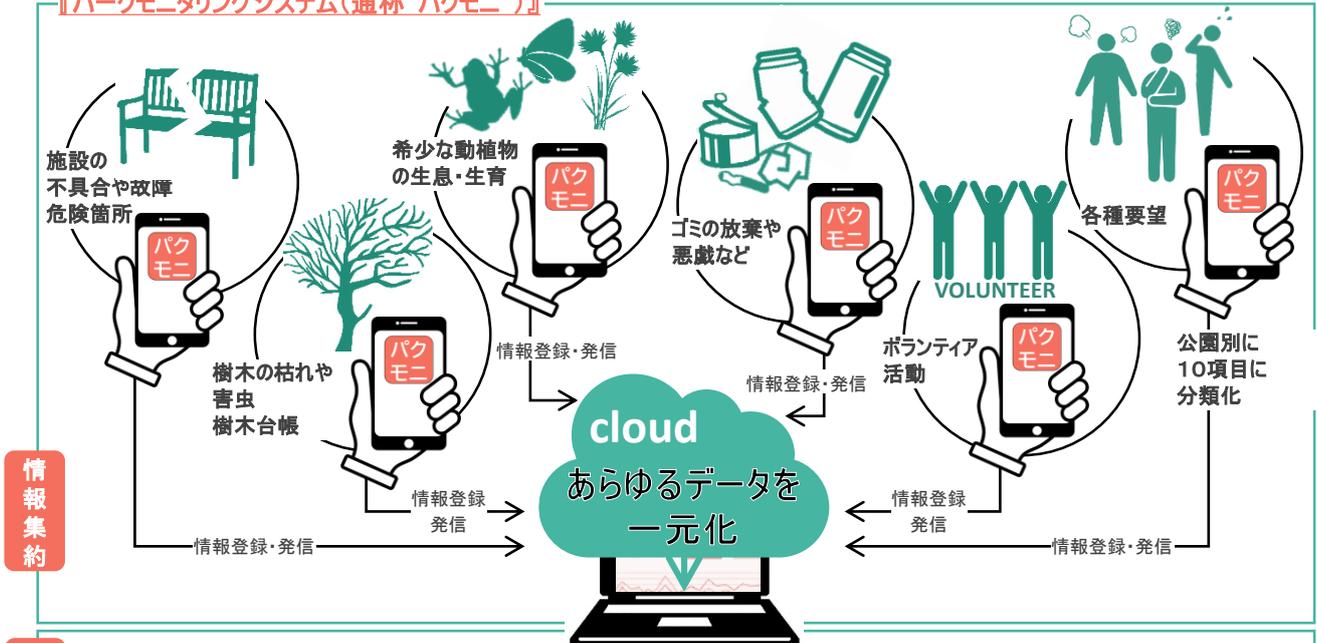
3 DX

品質管理を確実にする具体的な取組

①維持管理を革新するための(維持管理DX)システム『パークモニタリングシステム(通称“パクモニ”)』の活用

品質確保のためには早期発見、早期対応が欠かせません。私たちは、巡回時に発見した施設の不具合と位置情報をスマートフォンを活用して所管管理所と即時に共有化する独自のシステムを自主事業にて開発し活用しています。これは維持管理スタッフだけでなく、公園スタッフ全員および業務委託先の専門業者とも情報共有ツールとして活用することができるため、遠隔でも適正な判断と対応が実現します。更に情報を蓄積し整理・分析をすることで効率的な施設改修や不具合や故障の発生前の対応が可能となります。このシステムは維持管理業務に限らず、動植物の生息・生育場所や状況、公園に寄せられる利用者や近隣住民からの各種要望等の情報共有に活用し、トータル的なマルチシステムとして運用が可能です。私たちはこのシステムを2018年から運用し、データ管理の継続と汎用性を高め、より管理水準の向上と新しい管理運営手法として活用します。

『パークモニタリングシステム(通称“パクモニ”)』



分析

発生位置・発生時期・発生時間・発生推移・発生傾向を整理 → 様々な角度から分析 → 目的を設定し活用方法を検討

活用

維持管理での活用

- 早期発見と瞬時共有・早期対応
- 的確性の向上とコスト縮減
- 各種報告書活用による業務低減
- 蓄積データ分析による予防保全等

生物多様性での活用

- 生息・生育環境の保全活動
- 外来生物の計画的駆除
- 調査活動の効率化と的確性の向上等

利用者サービスの向上での活用

- 利用者要望の早期反映と改善
- 利用環境の改善に反映
- 危険箇所の早期発信と対策等

展開

一般利用者に展開((仮称)みんなでモニタリング)・環境教育や環境学習へのデータ活用・気象状況との連動・等々活用の可能性を広げ、汎用性を高めることで、公園にかかわる様々な質の向上と新しい管理手法として確立する。

②その他取組について

DX

DX・ロボットの活用

- ・ドローンを活用して樹林や公園施設上空など広域で多角的な巡回と点検を実施
- ・自動芝刈り機を用いた確実性・安全性・環境に配慮した芝生の管理
- ・探知機を使用したインフラ整備

New

新しい機材の導入

- ・脱炭素の取組として機材を電動タイプに変更 → 作業時の騒音の低減にも効果有り
- ・法面の草刈りの効率化と作業員の安全対策としてラジコン式ハンマーナイフの導入
- ・ナラ枯れ等による伐採木の再利用として薪割り機やパレット機等の導入

安全・安心への意識向上の取組

- ・安全推進大会の開催(年1回)
協力企業の安全意識の向上を目的
- ・安全会議の開催(年2回)
協力企業の実務を行う作業員や直営スタッフを中心に事故事例と安全活動の報告と共有
- ・維持管理ミーティング(月1回)
本部と維持管理スタッフで苦情や課題の共有
- ・園内の安全衛生パトロールの実施
代表企業の安全衛生管轄部門による園内巡視を行い、適正な維持管理の改善と危険要因箇所の発見による事故災害の未然・再発防止を図る。
- ・パークスキャンの実施
本部の専門スタッフと管理所のスタッフによる品質確認と安全衛生パトロール
- ・ボランティア向けの安全作業の講習
活動時の道具の扱いやルール等の周知

専門機関のチェック

- ・丘陵地の法面や樹林際など不安定箇所のチェックを専門機関と連携して事前に行い、安全確保や減災にむけて計画的かつ早期対応を実施(事例:一般社団法人日本地盤協会による擁壁診断)
- ・土壌医協会による土壌の健全な維持にむけて診断や指導を実施

New

専門業者との連携

- ・遊具メーカーとの連携により遊具施設の安全性の確保と現地スタッフの点検技能の指導
- ・建築物清掃管理評価資格者(通称:ビルクリーニング品質インスペクター)を公園の管理にも活用し良好かつ安全な衛生環境及び保全等の維持向上に寄与

New

(2) 事故、自然災害及び感染症などの社会課題への対策・対処するための取組

1 基本的な考え方

私たちは、これまで日常の安全点検をはじめ、巡回・防災訓練等といった安全管理・危機管理を徹底し、事故の防止や自然災害・感染症等の対策に取り組んできました。事故・災害発生時には、各種分野の協力団体（災害復旧に関する協定を締結）とともに、安全確保、被害の最小化に全力で対応します。そして**地域防災力の向上**にむけて、東京都・各自治体・警察・消防等との連携体制はもちろんのこと、地域住民と連携して、公園での防災活動をきっかけとして**誰もが安全に安心して過せる地域づくり**を共に行っていきます。



パートナーズ主催の防災活動

2 事故、自然災害及び感染症など未然・最小限に防ぐ対策

事故を未然に防ぐため、様々な主体・視点による**点検と予防保全、事故発生シーン毎に想定した備え**の充実、**各関連機関との連携・情報共有・普及活動**を行います。また、利用者の安全を第一とし、東京都への報告、二次被害防止など対応を着実に実施します。

①点検と予防保全

- ・ハザードマップによる**情報共有**……ハザードマップを共有し危険箇所の把握
- ・パークスキャン……本部の専門スタッフと管理所のスタッフによる安全・衛生パトロールと園内施設の点検（年1回）
- ・**専門技術者による定期点検**……各種指針、マニュアル、チェックリストに基づく詳細な定期点検
 - 公園全般……「公園施設の安全点検に係る指針」（案）（H27.4 国土交通省）に基づく定期点検及び危険箇所の掲示
 - 樹木……倒木、落枝による被害対策。「樹木点検マニュアル」に基づいた点検及び樹木医による点検・診断（年1回以上）
 - 遊具施設……指針に基づいたマニュアルのチェックリストによる点検。目視（毎日）、自主点検（月1回）専門技術者による点検（年2回）
 - 池や水景施設……ポンプ等設備点検、水質の定期点検、自然環境保全部によるモニタリング
- ・その他、パークモニタリングシステムを活用したハザードマップの更新、KY活動や安全パトロール等によるフタッフや作業員の安全活動

②備えの充実

- ・安全管理マニュアル等に基づく訓練、新しい知見・経験に基づくマニュアルの継続的な改善
- ・消防署や警察署と連携した各種訓練、救急救命士による応急手当、AED講習の実施（全員）
- ・各公園作業車、サービスセンターに携行救急セットを常備
- ・反社会的勢力対応基本規程に基づく対応
- ・桜花期・繁忙期、夏期・年末年始の夜間、被害発生後等、必要に応じ警備会社等による巡回
- ・イベント時は保健所の指導のもと、臨時出店等における食品衛生管理



安全パトロールによる点検状況

③各関連機関との連携・情報共有・普及啓発

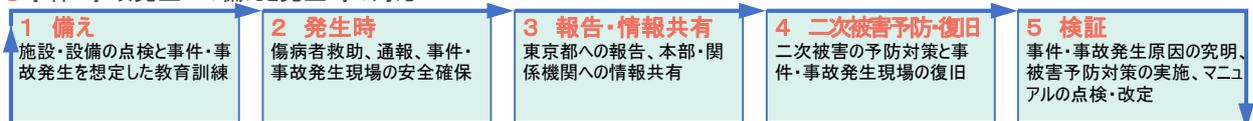
- ・東京都や地元自治体、警察や消防など各関連機関との連携強化と連絡体制の整備
- ・毎日の朝夕礼にて公園スタッフ間での園内施設の状態や事故に関する情報共有
- ・安全会議にてスタッフ、協力会社間での事故事例の共有と事故予防ワークショップの開催
- ・公園で活動する登録ボランティアを対象とした安全管理講習を実施



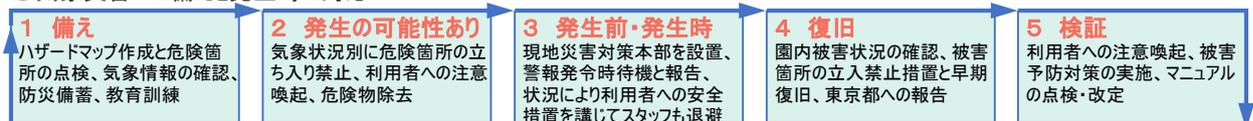
ボランティア活動での安全管理講習会

④備えと発生時の対応（発生後は必ず検証し次の備えに活用）

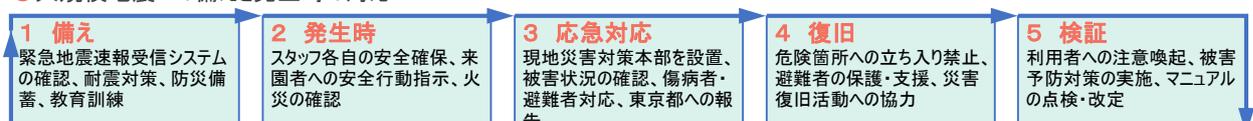
●事件・事故発生への備えと発生時の対応



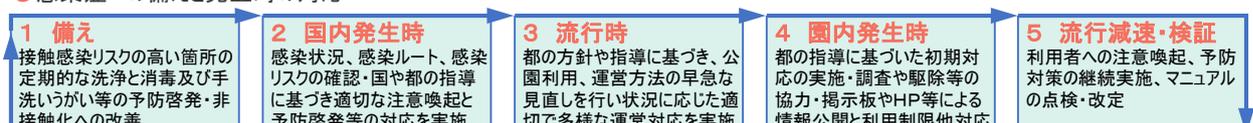
●気象災害への備えと発生時の対応



●大規模地震への備えと発生時の対応



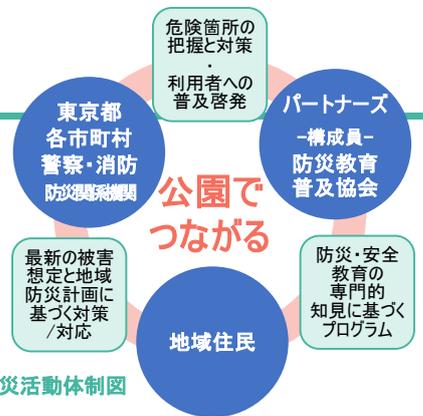
●感染症への備えと発生時の対応



3

社会課題における組織体制及び対応

私たちは、これまで地域防災力の向上にむけて、**地域とともに防災訓練や防災ワークショップ**を行い取組んできました。今後も定期的な防災活動を開催し公園版タイムラインの継続的な改善を行うとともに、公園での防災活動の参加を通して**各関係機関や地域住民の公助・共助**における「**顔の見える関係構築**」を図ります。



①公園版タイムライン策定でのパートナーズの役割

機関	東京都・各市区町村警察・消防・防災関係機関	パートナーズ	地域	住民
タイムライン種別	広域・市区町村版タイムライン	公園版タイムライン	地域版タイムライン	マイタイムライン
タイムラインの主体	地域防災計画に基づき都、市区町村、防災関係機関が主体	＜活用による効果＞ 公園で想定される災害の課題や対応行動の明確化 行政・防災関係機関、公園、地域、住民の情報共有 防災訓練を通じた地域防災力の向上と普及啓発 行政・防災関係機関、公園、地域の関係構築 地域防災リーダーの育成協力	自主防災会・町内会等 コミュニティが主体 (地域防災計画等)	ライフスタイルに応じて個人・家族が主体 個人や家族の防災行動計画を策定
目的	公助 行政や消防・警察による救助活動や支援物資の提供など、公的支援を円滑に進めること	公助・共助・自助 利用者・地域住民および管理者の安全を確保し公的支援が整うまでの避難者対応と支援	共助 災害時要配慮者の支援や救助活動を地域住民が計画的に行うことで地区の防災力を向上	自助 個人や家族で日頃から災害に備え災害時には率先して自分達で身を守る。

②公園版タイムライン策定の取組

私たちは、有事の際に活かせる防災訓練にするため、**行動と時間を具体的に示したアクションカード**を活用して訓練してきました。その取組を継続するとともに、参加者全員で「公園ができること」や「一緒にできること」等のアイデアを出し合い改善を図ります。



- 1. 各公園の地域特性を踏まえた課題分析と対応の設定**
 - 各公園で想定される災害の特性に応じた課題分析と時系列での対応を設定
 - 【進行型】台風・大雨に伴う情報収集と発信、事前対策、立ち入り禁止措置等
 - 【突発型】地震等に伴う来園者・スタッフの安全確保、避難者対応・支援等
- 2. 都や市区町村、防災関係機関、地域との協議・共有**
 - 課題分析と対応に基づき、指示命令系統や役割、防災アクションを明確にする
 - 管理者の対応について、都・防災関係機関・地域住民と協議及び共有の場をつくる
 - 市区町村、地域住民等による防災教育訓練に積極的に参加・協力し、管理者の災害時の対応について普及啓発する
- 3. 防災アクションの開始条件と優先行動の設定**
 - 警報発令や緊急地震速報等、防災アクション開始条件の設定
 - 防災アクションに必要な所要時間を設定し、優先順位を決定
- 4. タイムラインの作成**
 - 課題分析、防災アクションの明確化、優先行動、関係機関の対応を踏まえた公園版タイムラインの作成
- 5. 防災教育訓練によるタイムラインの検証、共有**
 - 公園設備を活用し、様々な条件を想定したアクションカード(右図)に基づく実践的な防災教育訓練の実施、課題の検証
 - 都や防災関係機関、地域住民が参加する懇談会等を通して共有と見直しを行う
- 6. タイムラインの活用**
 - 防災アクションに基づき記録された時系列の対応や課題を分析しタイムラインの改善に反映
- 7. 関係機関と地域住民共同でタイムラインの振り返り**
 - 災害発生後に可能なかぎり行動を時系列に記録しタイムラインに反映

防災訓練でアクションカードを活用したタイムラインの検証

4

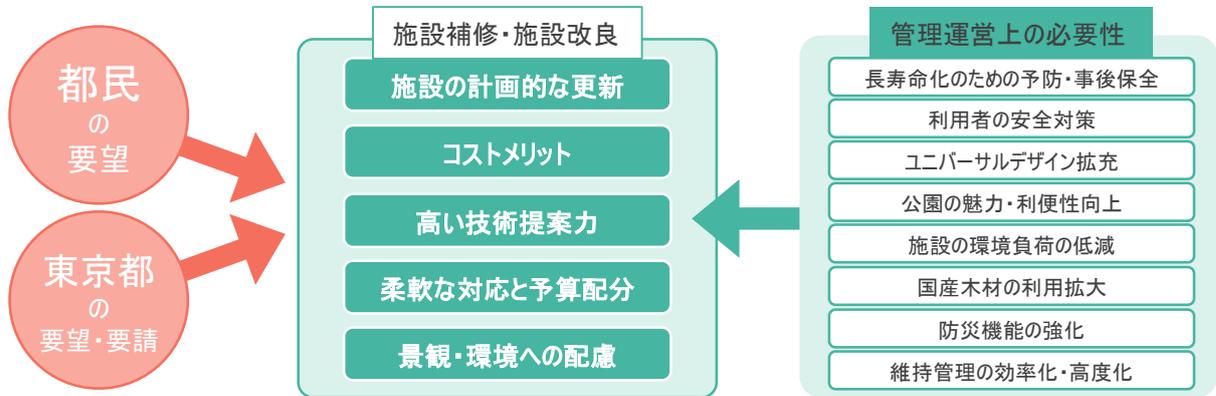
その他取組

- **災害ネットワークの構築の一環**…災害時に必要な注意喚起等を多言語化し、迅速な情報提供を実施
- **土砂災害危険地域の対応**…毎月点検の実施、防護壁としてブロック積の設置
- **防災トイレ・かまどベンチ**を活用した**防災訓練**…使用について動画を作成し共有
- **林野火災防災対策**…防火帯の整備として必要に応じた樹木の伐採
- **抗菌コーティング加工**…利用者が直接触れる可能性の高い部分を中心に、継続的な抗ウイルス・抗菌効果のあるコーティング剤を施し抗ウイルス・抗菌加工を実施

(3) 施設補修、施設改良に関する要望への取組

1 施設補修や施設改修に対する考え方

私たちは、施設補修や施設改良要望について、**広く都民の意見を収集し、優先順位を判断し、適切かつ迅速な対応**を行います。また、都民や東京都からの要望のほか、管理運営上必要な施設補修や施設改良もあることから、利用者の安全確保を第一に、これらを**総合的に判断しながら対応**します。そして、**民間ならではの柔軟な対応と技術提案力、コストメリット**をもって実施するとともに、周辺の景観と調和し、環境へ配慮した補修・改良により、公園の魅力を保持・向上します。

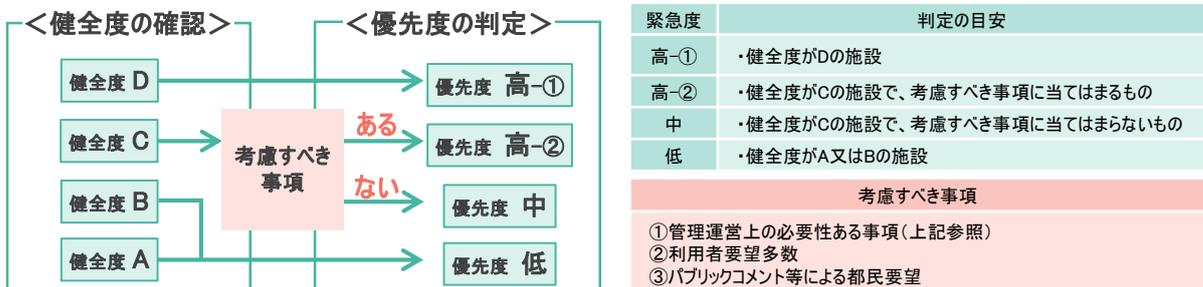


2 要望への対応姿勢と迅速かつ効果的な実施方策

① 都民および東京都からの要望への対応

私たちは、都民や東京都からの要望について広く収集し、**利用者の安全性、修繕の規模、ユニバーサルな視点**で検討します。そして公平さを保つために、以下の判定手法をもって迅速に優先順位を決めて対応します。

● 優先順位の判定について



② 効果的な5つの実施方策

施設補修及び改良の実施にあたり以下の5つの方策をもって**効果的な資金運営**および**柔軟性**をもって実施します。そして実施にあたり緊急性を要する場合には、東京都と協議のうえで、自己資金により先行実施を行うなど、柔軟に対応します。

方策①コスト管理の徹底

- ・造園施工部門をもつコンソーシアムの代表企業によるコスト管理
- ・ムリ・ムダのない発注内容の確認と実施 等

方策②コストメリットの追求

- ・DXを活用した情報収集と早期対応および新しい維持管理手法の開発
- ・ロボット活用による品質の向上、安全性の確保、経費削減 等

方策③スケールメリットの活用

- ・全国規模の資材一括購入や地域企業への計画発注
- ・東京都西部に地盤のある代表企業ならではの幅広い地域企業との連携 等

方策④高い技術力

- ・植物管理や施設管理の各種資格をもつスタッフの配置による高い水準による維持管理
- ・技能マルチスタッフの育成により、現地でのスピーディーで的確なワンストップ対応の実現 等

方策⑤資材の有効活用

- ・維持管理業務で発生した資材を柔軟な発想で公園施設に再利用
- ・発生材を活用した自主事業による利益還元 等



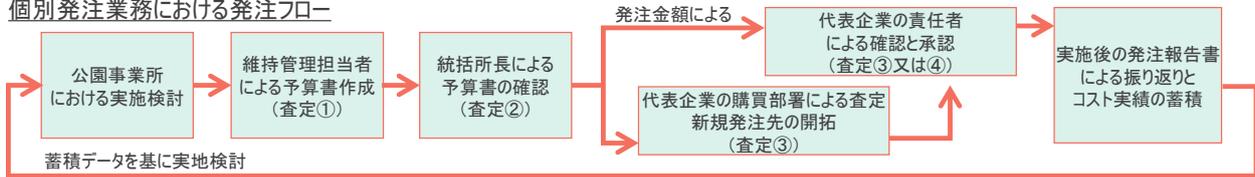
3 具体的な取組の提案

方策①コスト管理の徹底

●造園建設業のノウハウを活かした発注によるコスト管理

- 造園施工経験で培った予算作成から発注までの業務フロー。
- 公園事業所、パートナーズ本部のほか、工事部署を持つ代表企業による、発注先選定から全体予算管理。
- 代表企業の工事部署による発注先協力企業の多岐にわたる選択肢。

個別発注業務における発注フロー



DX

方策②コストメリットの追求

●独自の公園管理システムの開発と活用(4)(1)適切な維持管理へ

●自動芝刈り機の導入

- 毎日の刈草が微小で土に還るため、刈草が発生せずゴミが大幅に低減。
- 日々の草刈りで葉の密度が高まり、芝生の品質が向上と雑草の抑制。
- スマートフォンでの遠隔管理によりトラブル等の発生は即時に把握し早期対応。

●ドローンの活用

- 人力や重機等では確認が難しい斜面地等のナラ枯れの被害状況を可視化。
- 公園管理所やその他施設の屋根など、点検が難しい箇所の状況確認と早期発見。

●乗用草刈機の活用

- 乗用草刈機を指定管理者で所有し、広域の草地で活用することで効率化。



DX

DX

方策③スケールメリットの活用

●地域企業との連携及び計画発注

- 創業1951年の東京都西部に地盤があるコンソーシアム代表企業による地域のネットワークを活用し、連携をもって臨機応変な植栽地および施設の補修や改良が可能となります。さらに年度を通じた計画的な発注工程を地域企業と組むことで施設補修業務の安定性と緊急性を要する場合の早期対応が可能となります。このことは地域需要の安定にもつながります。

●資材等の一括発注

- 全国83ヶ所566施設の管理運営をおこなっているコンソーシアム代表企業グループにより球根や花苗等の一括購入、造園資材の協定単価購入、部品交換周期の統一を実施。

●専門技術および専門知識の共有とそれにかかる費用の分配

- パートナーズが関わる他の公園と専門技術者や専門機関での技術指導、技術研究、技術情報等を共有することで、それにかかる費用等を分散化。



方策④高い技術力

●技術スタッフによる高水準の維持管理

- 造園施工の経験や関係する各種資格をもつスタッフが、適正な工法や材料を選定し、現場状況、工程管理、品質管理内容を把握することで公園により適した質の高い修繕が実現。
- 本部のランドスケープマネージャーとの連携によるランドスケープチェックを行い、質の高い維持管理計画を実施
- リモコン式の機材の導入により維持管理業務の効率化と法面や危険生物などの危険箇所での作業員の安全確保。
- 探知機等を用いて老朽化した埋設給水管の漏水箇所を特定し修繕を実施。水道代削減の他、図面化し以後のメンテナンス業務効率を改善。



方策⑤資材の有効活用

●公園発生材の有効活用

- 地域公共施設へ活動や訓練用の資材として伐採木を提供(学校・消防等)。
- 伐採した木材をチップや公園施設として再活用。
- 伐採した木材を薪にして販売。
- 竹林整備の発生材を竹チップとして園路に敷均し歩行環境の改善。
- 伐採木を使用したエコスタック等。



(4) 丘陵地特性を踏まえた植生管理

1

基本的な考え方と留意点

当公園グループの主たる既存植生は、コナラを中心とした雑木林です。これに湿地、水路、草地など、多様な環境が組み合わさり、**豊かな生態系が形成**されています。しかし、樹林では手入れの担い手不足による遷移進行やナラ枯れが発生、草地や湿地では外来種が増加するなど、**植生の単純化や生物多様性の低下が課題**となっています。

そこで私たちは、都の上位計画に基づき、右図による管理手法にて、**協働による管理体制の構築**や**希少種の保全・再生**を行ってきました。また、これにパクモニやGISを組み合わせることで、保全の効率化やエコロジカル・ネットワークの強化を図るなど、**「環境保全DX」を推進**してきました。今後もエコロジカルマネージャーやパークレンジャーが中心となって多様な事業を展開し、公園から里山保全をリードしていきます。

A 全公園全域のモニタリング

- ・パークレンジャーが公園全域を巡回調査
- ・重要エリアでは専門チームが集中調査（生物各分類群、光量、土壌、文献など）。

B 情報の集約と解析

- ・集められたデータを各種データベースに整理
- ・位置情報をパクモニ・GISで整理
- ・広域の貴重種保全計画等をGISにより策定

C 順応的維持管理の実践

- ・エリア別に保全計画を策定、保全のための維持管理を実施
- ・生物多様性スポットの選定と管理
- ・戦略的な保全と外来種防除を協働により実施

DX

2

具体的な取組

①協働による管理体制の継承・発展

私たちは、協働によるパークマネジメントにより、**年間のべ約7,000人のボランティア活動**や、**都県境を越えた施設等との広域連携**を実現し、里山生態系の保全を進めてきました。今後もこれらの取組を継続するとともに、狭山丘陵全域で活動する**市民団体との強固なネットワーク**や**企業との新たな連携**を促進し、より効果的な保全活動を展開していきます。

②里山生態系の保全

里山生態系が抱える課題を解決するため、**希少種の保全を通して植生回復**を図ってきました。これまでの取組成果をふまえ、以下の通り課題を解決していきます。

課題①遷移の進行による植生の変化

【里山本来の植生を回復・維持】

東京都の上位計画等に基づき、生物多様性の保全と創出のための維持管理を実施します。また希少種の位置、草刈時期などを考慮し、順応的管理を実践します。

課題②ナラ枯れによる雑木林の衰退

【ナラ枯れ後の樹林地管理】

広範囲でナラ枯れ被害が発生しており、コナラの雑木林の衰退が危惧されています。そこで実生の育成や被害地での樹林地管理を公園利用者、ボランティア、地元団体など、より多くの主体と協力しながら進めていきます。

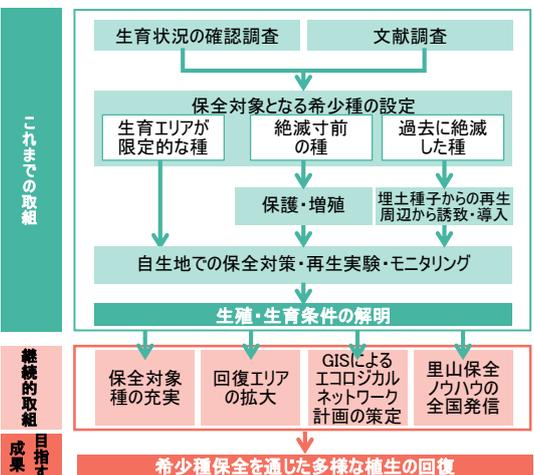
課題③在来種の減少

【希少種保全を通じた多様な植生の回復】

東京都及び環境省レッドリストの掲載種を「希少種」とし、狭山丘陵における保全の緊急度で優先順位をつけて効果的な保全対策を実施、様々なタイプの環境・植生を回復し、これまで約100種の希少種を保全してきました。

●戦略的保全の実施

これまでの保全の取組結果をふまえ、今後は特に生物多様性のポテンシャルが高いエリア（ホットスポット）を選び、重点的な保全活動を実施し、種の再生・植生回復を図っていきます。



区分	基本的な管理
雑木林	<ul style="list-style-type: none"> ・都民協働による下草刈り、ササ刈り ・優先順位設定による効率的な管理 ・園路沿い・活動地の枯損木処理 ・山野草の見どころづくり ・松枯れ対策
谷戸部	<ul style="list-style-type: none"> ・都民協働による外来種の抜き取り ・希少種保全のための選択的除草 ・外来種の駆除 ・ヨシ等抽水植物の刈り取り ・落ち葉の除去 ・水流保持のための草刈り、外来種の駆除
草地部	<ul style="list-style-type: none"> ・外来種の駆除 ・多様な草地環境の創出 ・草の刈り残しによるパッチランド創出 ・水流保持のための草刈り、外来種の駆除
耕地部	<ul style="list-style-type: none"> ・修景管理、攪乱性の湿生植物の維持 ・高次動物のエサとなるネズミ・モグラ類の生息環境確保 ・チョウ類の生息環境創出



DX

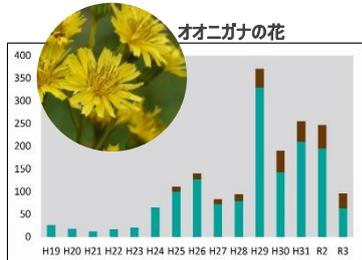
● **個体群の再導入による生態系の回復と絶滅リスクの分散**

生息箇所数や個体数が少ない種について、研究機関や専門家等と連携し絶滅してしまった場所への個体群の再導入を検討します。かつての生態系を再生させるとともに、絶滅リスクを分散させる取組を進めていきます。

主な成果

【実績】オオニガナの保全

自生地の整備、開花調査、選択的除草といった一連の保全・モニタリングを公園ボランティアや専門学校などとの協働により実施。毎年200株以上の開花を確認できるほどに安定している。



【実績】トウキョウサンショウウオの保全

H18年より産卵水域の環境改善と保護増殖を実施し、個体数を大きく回復させることに成功しました。しかし外来種のアライグマ等による食害で近年減少傾向に変化したため新たな対策を講じます。



【実績】アカマツ再生

アカマツの実生が成長しておらず、更新ができていない状況でしたが、再生計画を作成。広範囲で間伐と、実生周りの丁寧な草刈りにより、実生が着実に成長。ハルゼミの生息環境保全につながっています。



課題④ 外来種による既存植生の衰退や在来種の遺伝子汚染

【外来種防除による既存植生・生態系の保全】

外来種は、既存植生の衰退や在来種の遺伝子汚染を引き起こすことが懸念されます。そこで、下図の通り、防除対象種の選定や外来種の性質に応じた対策を実施し、効率的に既存植生を保全します。

● **確実な防除を実施**

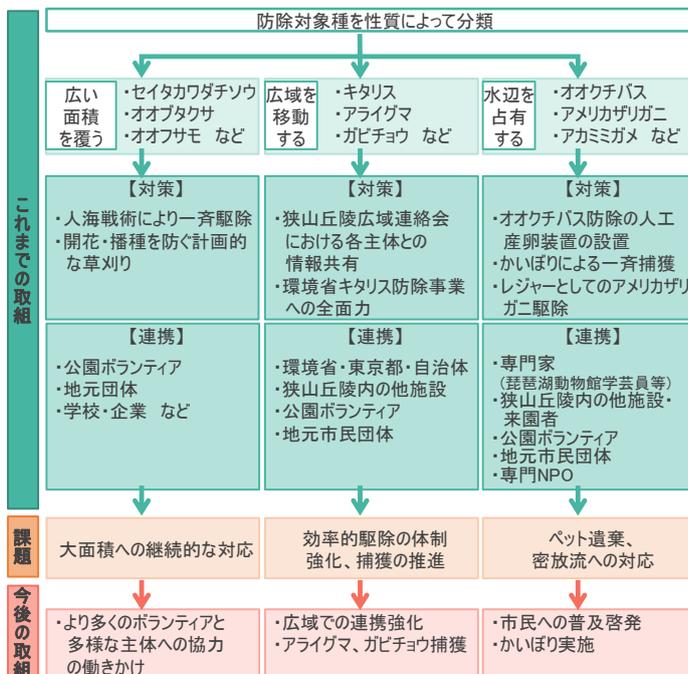
これまで侵略性の高い特定外来生物9種、生態系被害防止外来種リスト掲載種45種の対策を優先的に実施してきましたが、今後はこれまでの防除も継続しつつ、里山生態系に大きく影響を与えている種（アライグマやアメリカザリガニ、モウソウチク等）にも注力し、在来種の回復を図ります。

● **多様な主体との連携強化**

外来種の増減をリアルタイムで把握して迅速に対策できるよう、公園利用者、ボランティア、地元団体、専門家など、より多くの主体と協力しながらモニタリングと戦略的な対策を実施していきます。

● **かいぼりの定期実施**

水辺を占有する種については、定期的なかいぼりを実施して防除します。狭山公園の宅部池、野山北・六道山公園の桜沢・日野出池・中池が候補地です。



課題⑤: エコロジカルネットワークの衰退【水と緑のネットワーク形成】 DX

各環境タイプの面積や近隣の緑地との距離、野生生物の移動距離などをGISで分析し、生息地をつなぐ「エコロジカル・ネットワーク戦略地図」を作成します。例)カヤネズミの個体数を増やすため、イネ科草地の連続性を検討し、新たな草地づくりや適切な管理につなげます。



③ **普及啓発・環境教育**

● **里山保全ノウハウの全国発信**

私たちが蓄積してきたノウハウや解明した生態情報等を、**学術論文やガイドライン、パンフレット、ウェブページ等で公開・発信し、全国の里山環境保全に貢献していきます。**

● **パークレンジャーによる普及啓発・環境教育**

既存植生を適切に管理・保全するためには、利用者の理解と協力が必要です。そのため、様々な媒体や機会を通じ、**普及啓発と環境教育を継続して実施**します。



(5) 公園が持つ緑の特性を一層引き出すための新たな維持管理の考え方

1 基本的な考え方

都立公園の緑は、右図に示した多様な機能を持ちます。私たちはこの機能が発揮できる、質の高い緑の確保とその向上を目的に維持管理に取り組んできました。その中で、近年、**持続可能な地域社会の形成**に向けて様々な社会課題に対応していくため、**自然が持つ多様な機能を活用していく「グリーンインフラ」の考え方**が重要視されています。私たちは、グリーンインフラを支える重要な拠点である公園で、緑の持つ多様な機能を、**多様な主体の参画により発揮させ、「未来の東京」の持続可能性を支える維持管理を**実践していきます。



「未来の東京」
持続可能な維持管理の実践

2 緑の特性を一層引き出すための新たな考え方

私たちは、**グリーンインフラの視点**を踏まえ、狭山丘陵の美しい里山風景を保全・創出しながら、緑の多様な機能を発揮させる維持管理を実践します。

考え方① 新たな景観づくり

《維持管理内容》

眺望や奥行を感じさせる景観、フォトスポット、また居心地の良い広場づくりなどについて、ランドスケープチェックによる現場視察や意見交換を行い、修景伐採や透かし剪定、下草刈りなどを実施。自然環境保全とのバランスを考慮しながら植栽管理計画に反映します。

《つなげる多様な機能 一例》

- 短期: 眺望の回復(景観スポットに繁茂した樹木の伐採等)
- 中期: 公園利用者やボランティア等との連携による、新たな景観づくりの取組に展開し地域景観の向上に寄与
- 長期: 地域との連携による景観向上の取組。観光名所地化へ期待

緑の多面的機能を発揮する維持管理 景観 × 健康レクリエーション × 観光経済



考え方② 雨水貯留機能を向上させる水辺再生・創出

《維持管理内容》

水辺環境を再生・新規創出することにより、雨水貯留機能をアップさせ、周辺地域の水害を防止するとともに、生物多様性も向上させます。あわせて潤いのある水辺景観を提供します。

《つなげる多様な機能 一例》

- 短期: 掘削等による湿地再生で生物多様性と貯留機能が向上
- 中期: かいぼりの定期実施により水質や生態系の質が向上
- 長期: ため池や湿地の新規創出により雨水貯留機能が向上

緑の多面的機能を発揮する維持管理 環境生物多様性 × 防災



考え方③ 防災と生物多様性向上を両立させる樹木伐採

《維持管理内容》

近隣住宅等への倒木被害を防ぐため、林縁の樹木を伐採して樹林地をセットバックした後、その場所に質の高い草地などの新たな自然環境を創出することで、逆に生物多様性を高めます。

《つなげる多様な機能 一例》

- 短期: 伐採跡地に創出した草地で生物多様性が向上
- 中期: 伐採跡地の数が増えて連続性ができ、生物多様性が向上
- 長期: 公園周縁部での倒木事故が無くなり、草地性生物のエコロジカルネットワークが形成

緑の多面的機能を発揮する維持管理 防災 × 環境生物多様性



考え方④ AIロボットや電化機材の活用

《維持管理内容》

芝生地の管理や樹林地の状況確認に、維持管理業務の効率的かつ品質の向上、作業員の安全対策を目的に自動芝刈り機やドローンの他、電化機材を導入しています。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：作業音の低減、廃棄物の低減による脱炭素への貢献

中期：芝生の品質向上、樹林地の景観向上

長期：公園利用者増と活性化へ期待

緑の多面的機能を発揮する維持管理 景観 × 環境生物多様性

自動芝刈り機による良好な景観形成



考え方⑤ 里山民家と一体となって象徴的な景観をつくる新しい「さとやま湿地」の創造

《維持管理内容》

整備して水が戻った「さとやま湿地」を、里山民家と一体の象徴的な景観となるよう、ボランティアとの協働で維持していきます。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：新しいボランティア活動の場の創出

中期：ボランティアとの協働による植生管理で生物多様性が向上

長期：地域のシンボリックな景観地として期待

緑の多面的機能を発揮する維持管理 文化伝承 × 景観 × 環境生物多様性



里山民家とさとやま湿地 新しい景観

考え方⑥ 環境教育と連携した維持管理

《維持管理内容》

近隣の学校の奉仕体験活動や大学・専門学校のインターン、企業のCSR活動等の受け入れにおいて、外来種の選択的除草や湿地の掘削などの体験を促し、その作業の意義やSDGsでの位置づけなどを詳しく解説することで、環境教育につながる維持管理を行います。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：ボランティアとの協働による湿地の植生管理

中期：継続的な実施による成果の拡大

長期：単発でなく、年間プログラムや複数年に渡る協働体制の構築

緑の多面的機能を発揮する維持管理 環境生物多様性 × 子育て教育



学生による外来種の選択的除草

考え方⑦ サイン等のトータルデザイン

《維持管理内容》

園内サインや主要な掲示物について、質の高いデザインで意匠を統一し、清潔で良好な景観づくりを行います。更に、サインの清掃の徹底や掲示物の定期交換により、美しい状態を保ちます。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：公園全体のコンセプトに沿った雰囲気づくりと好印象化

中期：公園の利用者意識の向上に伴う公園の質の向上

長期：公園利用者増と活性化へ期待

緑の多面的機能を発揮する維持管理 景観 × コミュニティ

トータルデザインによるサイン設置



考え方⑧ 触れ合える花壇の創造

《維持管理内容》

地域住民やボランティア、子ども達等の参加によって、見るだけでなく、触れる、嗅ぐ等、五感を使って花と触れあい、活用し、交流する場として、子育てや健康づくりに貢献する花壇づくりを行います。

《つなげる多様な機能 一例》

短期：子どもたちが触れ合える花壇づくり

中期：継続的な実施と体験機会の充実

長期：花壇づくりに関わる交流人口の増加に期待

緑の多面的機能を発揮する維持管理 景観 × 健康レジャー × コミュニティ



ボランティアによる花壇づくり